

Adobe® Acrobat® 5.0 日本語版活用法

プリントまたは印刷用 PDF 作成ガイド

Vol.3 アプリケーションからの PDF 作成編



監修協力：Japan Publishing Consortium



本書は、Adobe InDesign®、Adobe Illustrator®、および Adobe Photoshop® で制作されています。Adobe、Adobe ロゴ、AdobePS、Adobe Illustrator、Adobe Type Manager、Acrobat、Acrobat Exchange、Distiller、FrameMaker、InDesign、PageMaker、Photoshop、PostScript、および PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国々における米国ならびに他の国における商標または登録商標です。Apple および Macintosh は米国およびその他の国々における Apple Computer Inc. の登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有です。
© 2003 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.2003/4/1

目次

このガイドブックについて	4
Adobe® InDesign® 1.0 日本語版 Windows® 2000/XP	6
Adobe InDesign 1.0 日本語版 Mac® OS 9.2.2	10
Adobe InDesign 2.0 日本語版 Windows 2000/XP	15
Adobe InDesign 2.0 日本語版 Mac OS 9.2.2	22
Adobe® PageMaker® 6.5 Plus 日本語版 Mac OS 9.2.2	31
Adobe PageMaker 7 日本語版 Mac OS 9.2.2	34
Adobe® FrameMaker® 6 日本語版 Windows 2000/XP	36
Adobe FrameMaker 6 日本語版 Mac OS 9.2.2	39
Adobe FrameMaker 7 日本語版 Windows 2000/XP	43
Adobe FrameMaker 7 日本語版 Mac OS 9.2.2	46
Adobe® Illustrator® 9 日本語版 Windows 2000/XP	50
Adobe Illustrator 9 日本語版 Mac OS 9.2.2	52
Adobe Illustrator 10 日本語版 Windows 2000/XP	56
Adobe Illustrator 10 日本語版 Mac OS 9.2.2	59

このガイドブックについて

■高品質印刷に対応する PDF 変換手順を説明

本ガイドブックはプリプレスや印刷ワークフローで使う、Adobe® Portable Document Format (PDF) ファイルの基本的な作成手順を説明するものです。

ここでは、Adobe 社製のページレイアウトまたはイラストレーション作成ソフトウェアで制作したドキュメントを、印刷会社やサービスビューロなどに入稿する際の、高品質に印刷するための PDF ファイル生成の手順やテクニックを説明します。

■本ガイドブックの内容

本ガイドブックは三分冊で構成されています。PDF を正しく利用するためには、他の二冊も合わせてご覧ください。それぞれの分冊には、以下の内容が盛り込まれています。

アプリケーションからの具体的な PDF 作成方法は、Vol.3 で説明していますが、これをいきなり読むよりは、Vol.1、Vol.2 を先にご覧になることをお勧めします。

Vol.1 プリントまたは印刷用 PDF を作成するための基本概念

プリントまたは印刷用 PDF を作成するための基礎的な知識、運用方法と、特定のワークフローや技術的手法、Adobe® Acrobat® の注釈機能などを説明しています。

Vol.2 環境セットアップ編

高品質な PDF ファイルを作成するためのプリンタドライバ、および Adobe® Acrobat® Distiller™ の設定を説明しています。

Vol.3 アプリケーションからの PDF 作成編

本書です。各アプリケーションから PDF を作成するための具体的な手順を説明しています。Vol.3 で手順を説明しているアプリケーションは、次のとおりです。

- Adobe® InDesign® 1.0 日本語版
- Adobe InDesign 2.0 日本語版
- Adobe® PageMaker® 6.5 Plus 日本語版
- Adobe PageMaker 7 日本語版
- Adobe® FrameMaker® 6 日本語版
- Adobe FrameMaker 7 日本語版
- Adobe® Illustrator® 9 日本語版
- Adobe Illustrator 10 日本語版

※ Adobe PageMaker の Windows® 版では印刷に適したフォントの埋め込みが行えないため、このガイドからは削除しています。

■本書の概要

本書 Vol.3 では、PostScript ファイルを作成して、PDF ファイルへ変換するための、基本的な手順やテクニックを説明しています。重要なステップは、正しい出力設定を指定することです。

なぜなら、作成された PostScript ファイルが、PDF ファイル内のデータを決めるからです。たとえば、PostScript ファイルにグラフィックを配置するのを忘れると、当然 PDF ファイルでは表示しません。

この節で説明する手順は、コンポジット PDF ワークフローで利用する PDF ファイルを作成するためのものです。トラッピングや OPI などの上級テクニックについては、Vol1.「プリントまたは印刷用 PDF を作成するための基本概念」－「付録 A」を参照してください。

作業を始める前に、Acrobat 5.0.5 がインストールされているかを確認します。アプリケーションで PostScript ファイルを作成する前に Acrobat Distiller の設定をすることも、重要なプロセスです。詳しくは、Vol.2「セットアップ」を参照してください。

■動作環境

本ガイドブックでは、上記のアプリケーションについて、以下の OS での動作について説明していません。

- Windows 2000/XP
- Mac® OS 9.2.2

また、出力のプロセス、出力機に関しては、プリンタドライバから PostScript® 3 のコードで書き出し、Distiller から生成した PDF 1.3 を、Postscript 3 の出力デバイスで出力することを推奨していません。

最終出力デバイスが PostScript Level 2 である場合には、Acrobat からポストスクリプトコードを送信して出力をしてください。

Adobe InDesign 1.0 日本語版

Windows 2000/XP

■出力前のプリフライトチェック

InDesign 1.0にはプリフライト機能があり、これを使ってドキュメントの品質をチェックすることができます。フォントや必要なファイルが正しく準備されているかなど、簡易なレベルではありますが必要最低限の出力前のチェックができます。

PDFを作成する前に、プリフライト機能を使って事前に問題点を発見し、解消しましょう。プリフライトは、以下の手順で実行します。

1. [ファイル] メニュー→ [プリフライト ...] を選択します。

2. プリフライトが始まります。[プリフライト ドキュメント] という進行を示すダイアログが表示されます。これが消えると、[プリフライト] ダイアログが表示されます。

プルダウンメニューで、結果が5つの項目に分かれて画面に表示されます。リンク切れの画像やシステムにないフォント、カラースペースなどの確認ができます。

3. [レポート] ボタンをクリックすると、この画面で表示された内容を、ひとつのテキストファイルとして書き出すことができます。

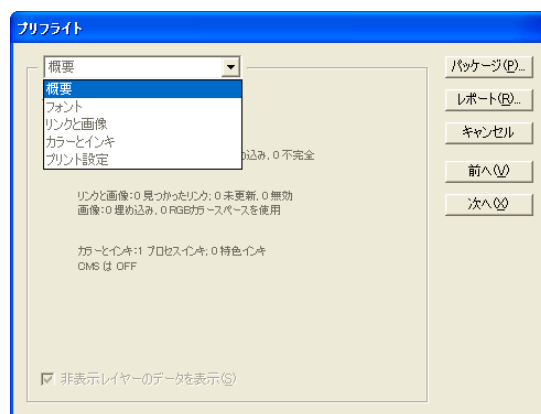
■ Acrobat Distiller プリンタの準備

InDesign 1.0で、Distillerを使ってPDFを作成するには、まず、Distiller プリンタの設定を行います。

1. InDesign 1.0でドキュメントを開きます。

2. [ファイル] メニュー→ [プリント] を選択します。[プリント] ダイアログが表示されます。

3-InD1W-01
[プリフライト] ダイアログ



※ [プリント] ダイアログで [プリンタ] - [ファイルへ出力] オプションを選択する必要はありません。このオプションを選択すれば、指定場所に PostScript ファイルが作成されますが、自動的に PDF ファイルに変換されません。

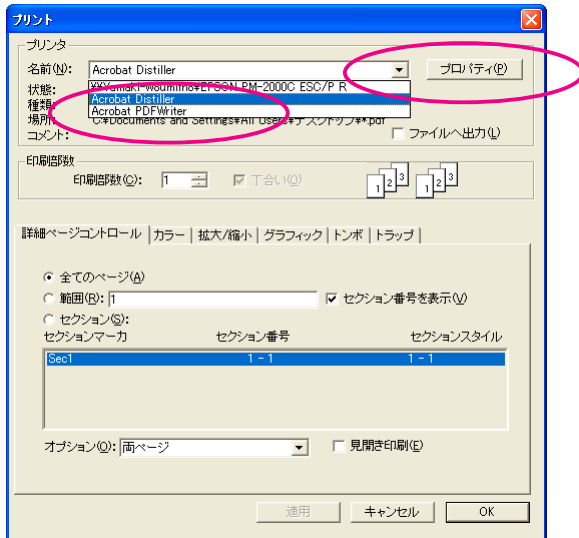
3. [プリンタ] - [名前] プルダウンメニューから [Acrobat Distiller] を選択します。

4. [プロパティ] ボタンをクリックすると、[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログが表示されます。

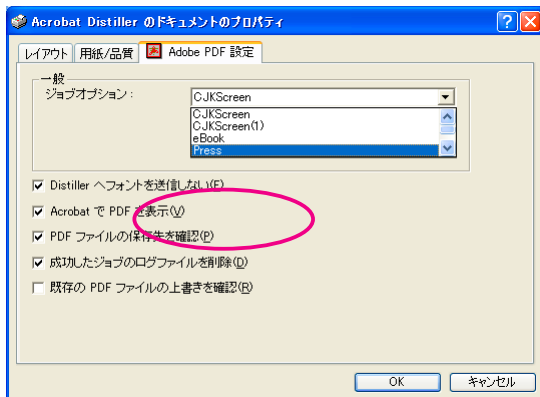
5. [Adobe PDF 設定] タブをクリックして、[ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press]、またはユーザーが独自に設定したジョブオプション名を選択します。

[OK] ボタンをクリックして、[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログを閉じます。[プリント] ダイアログに戻ります。

3-InD1W-02 [プリント] ダイアログ
 [プリンタ] - [名前] プルダウンメニューで [Acrobat Distiller] を選択。



3-InD1W-03 [Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログ
 [一般] - [ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press] を選択。



「Press」ジョブオプションのデフォルトの設定では、[フォント] タブの中にある [埋め込めなかったときの処理] が [ジョブをキャンセルする] に設定されているため、埋め込めないフォントがあると PDF が生成されません。

3-InD1W-04 [プリント] ダイアログ
 [カラー] タブをクリックし、[標準 (コンポジット)] チェックボックスをチェック。

■ [プリント] ダイアログでの主要設定

前段の手順で PDF 作成の準備ができました。ついで、PDF 出力に移ります。

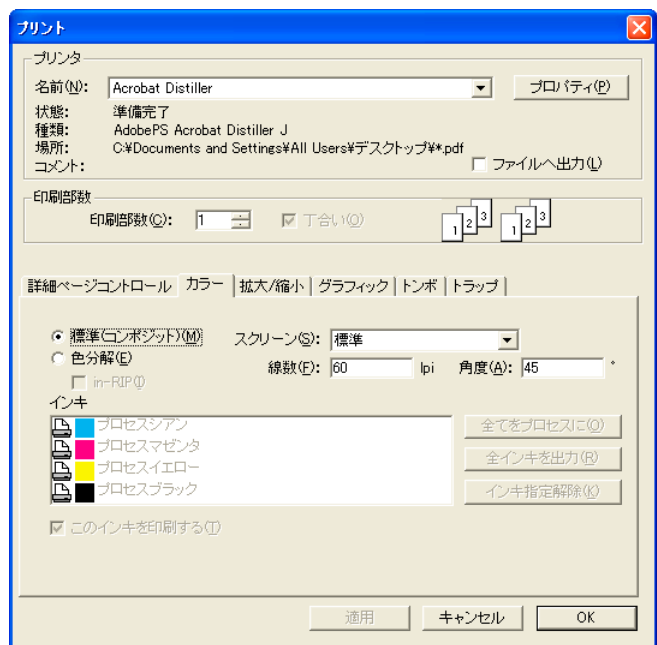
1. [プリント] ダイアログで、[カラー] タブを選択し、[標準 (コンポジット)] チェックボックスをチェックします。

※ [スクリーン] オプションはデフォルトのままにしておきます。PPD ファイルの設定が使われます。ここは原則として後工程で処理される部分であり、PDF 生成時に設定する必要はありません。

2. [グラフィック] タブを選択し、下記の設定を行います。

• [イメージ解像度:] プルダウンメニューから [全て] を選択します。

※ [グラデーションのオプション] の [連続階調の動作] は、昇華型プリンタなどハーフトーンスクリーンを使わない出力デバイスのためのオプションです。



・ [OPI/DCS 画像の置き換え] チェックボックスを
チェックします。

※後工程で OPI 置換を行う必要がない限り、原則としてすべての印刷用画像をそのまま PDF に埋め込むようにします。ここをチェックしないと、作成される PDF の画像はプレビュー用画像のままになります。OPI リンク情報を PDF に引き継ぎます。その後、Distiller のジョブオプションの [詳細設定] タブー [文書構造化コメント (DSC)] - [OPI コメントを保存] 設定も影響しますので、事前の確認が必要です。

・ [フォントのダウンロード] プルダウンメニューで [サブセット] を選択します。これは、PDF で使う埋め込み用フォントを、Distiller 自身がダウンロードするためです。

3. [トラップ] タブを選択し、[トラップ:] プル
ダウンメニューから [オフ] を選択します。

※ [Adobe In-RIP] を選択する場合は、出力担当の
サービスビューロや印刷会社と相談してください。

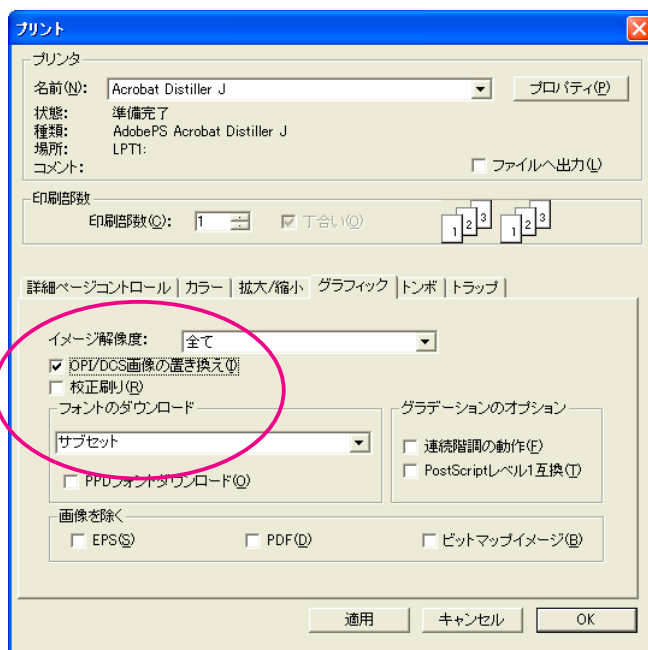
※黒をすべてオーバープリントする場合は、事前に
[編集] メニュー→ [環境設定] → [一般] にある、
[プリントオプション] - [黒のオーバープリント]
チェックボックスがチェックされているか確認して
ください。チェックされているのがデフォルトです。

■ PostScript 出力、PDF 作成を行う

前段の手順で出力の準備が整いました。ついで、
PDF 出力に移ります。

1. [プリント] ダイアログで [OK] ボタンをクリック
します。[PDF ファイルの保存] ダイアログが表示
されます。

2. [PDF ファイルの保存] ダイアログから PDF を
保存したいフォルダを選択し、PDF ファイル名を
入力して [保存] ボタンをクリックします。その後、



3-InD1W-05 [プリント] ダイアログ

[グラフィック] タブをクリックし、以下の3項目を
設定する。

- ・ [イメージ解像度:] プルダウンメニューで [全て]
を選択。
- ・ [OPI/DCS 画像の置き換え] チェックボックスを
チェック。
- ・ [フォントのダウンロード] プルダウンメニューで
[サブセット] を選択。

PostScript ファイルが出力され、Distiller が PDF を自動で作成します。

※ [プリント] ダイアログで [OK] ボタンをクリックする、と設定内容がドキュメント内に一時的に保存され、[PDF ファイルの保存] ダイアログが表示されます。

[適用] ボタンをクリックすると、設定内容がドキュメント内に一時的に保存されます。この場合、[PDF ファイル保存] のダイアログは表示されず、PostScript ファイルの出力、PDF の作成は共に行われません。

■設定内容は他のユーザーも利用できる

[ファイル] メニュー→ [プリント設定] → [定義] を選択すると [プリンタスタイルの定義] ダイアロ

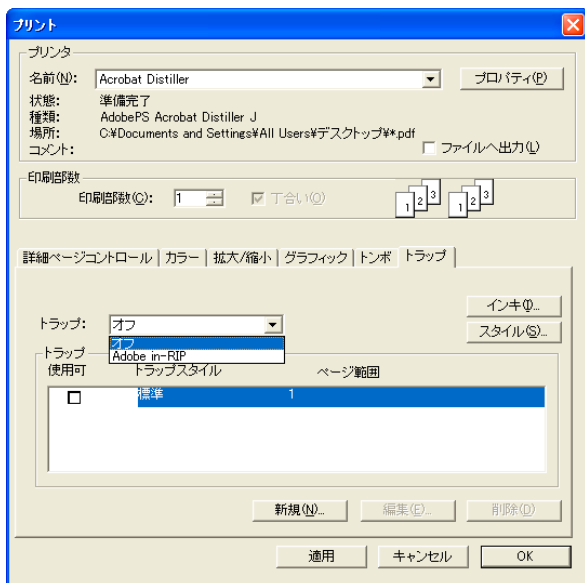
グが現れます。

プリント設定はドキュメント内に一時的に保存されていますが、それは [現在] というスタイル名になっています。ここで [新規] ボタンをクリックすると、スタイル名を設定するダイアログの後に [プリント] ダイアログが表示されます。

このダイアログで行った各種設定は、定義ファイルとして保存しておくことができ、他のユーザーがその設定をそのまま利用することができます。ただし、プリンタの [プロパティ] で設定したもので、つまりジョブオプションなどは引き継がれませんので、注意してください。

3-InD1W-06 [プリント] ダイアログ

[トラップ] タブをクリックし、[トラップ:] プルダウンメニューで、[オフ] を選択。



3-InD1W-06 [PDF ファイルの保存] ダイアログ



Adobe InDesign 1.0 日本語版

Mac OS 9.2.2

■出力前のプリフライトチェック

InDesign 1.0 はプリフライト機能を使ってドキュメントの品質をチェックすることができます。

フォントや必要なファイルが正しく準備されているかなど、出力前のチェックができます。

InDesign のプリフライト機能は、次の手順で実行します。

1. [ファイル] メニュー→ [プリフライト ...] を選択します。

2. プリフライトが始まります。結果が5つの項目に分かれて画面に表示されます。リンク切れの画像やシステムにないフォント、カラースペースのチェックなどの確認ができます。

■ PDF ファイルを作成する

InDesign のドキュメントから PDF ファイルを作成する前に、Step 2 「セットアップ」の手順に沿って PostScript プリンタドライバの設定を行ってください。

PDF ファイル作成の手順は、以下の通りです。

1. InDesign でドキュメントを開きます。

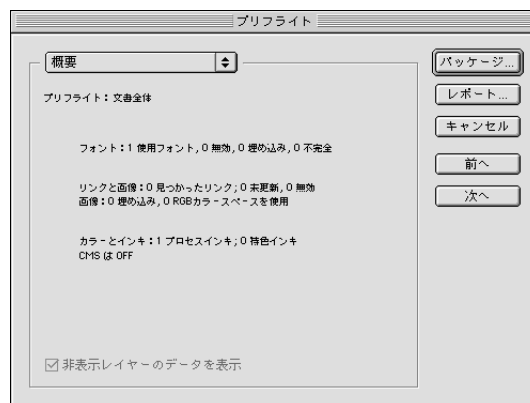
2. [ファイル] メニュー→ [用紙設定] を選択します。ダイアログが表示されます。

[プリンタ:] プルダウンメニューから [Adobe PDF の作成] を選択します。

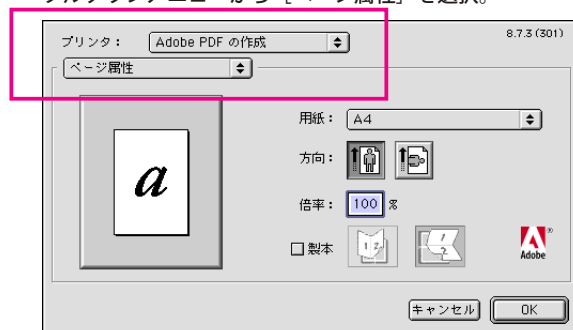
3. ダイアログ左端のプルダウンメニューから [ページ属性] を選択し、必要に応じて [用紙]、[方向]、[倍率] の変更を行います。

4. 左端のプルダウンメニューから [PostScript オ

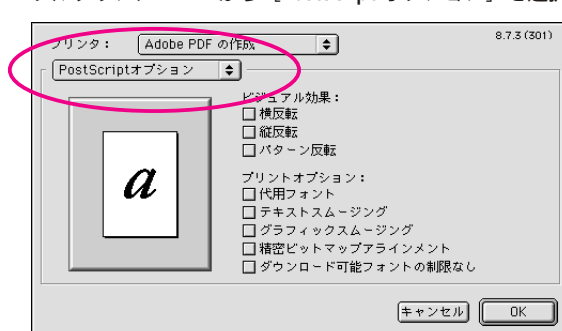
3-InD1M-01
[プリフライト] ダイアログ



3-InD1M-02 [ファイル] メニュー→ [用紙設定]
プルダウンメニューから [ページ属性] を選択。



3-InD1M-03 [ファイル] メニュー→ [用紙設定]
プルダウンメニューから [PostScript オプション] を選択。



プション] を選択します。[PostScript オプション] ダイアログにあるすべてのチェックを外し、[OK] ボタンを押してダイアログを閉じます。

5. [ファイル] メニュー→ [プリント ...] を選択します。ダイアログが表示されます。

[プリンタ:] プルダウンメニューに [Adobe PDF の作成] が表示されているのを確認します。右上に [出力先:] プルダウンメニューで [ファイル] が表示されているのを確認します。

6. 左端のプルダウンメニューから [PDF 設定] を選び、[ジョブオプション:] を [Press] にするか、ユーザーが独自に設定した Distiller ジョブオプションを選択します。

PDF 作成後、作成された PDF を自動表示するために、[PDF 作成後:] プルダウンメニューで、[Adobe Acrobat を起動する]、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択します。PDF 作成後、PDF の自動表示の必要がない場合は、[何も起動しない] を選択します。

7. 左端のプルダウンメニューから [プリンタ固有機能] を選択し、解像度を選択します。

ここではイメージセッターなど高品位出力する印刷用 PDF ファイルを作成したい時、2400 dpi を選択します。Distiller の [Press] ジョブオプションも 2400 dpi の解像度になっています。

※ [プリンタ固有機能] で 2400dpi 以上の解像度を設定する場合には、事前にカスタマイズした Distiller のジョブオプションを作成し、設定値を合わせるようにしてください。

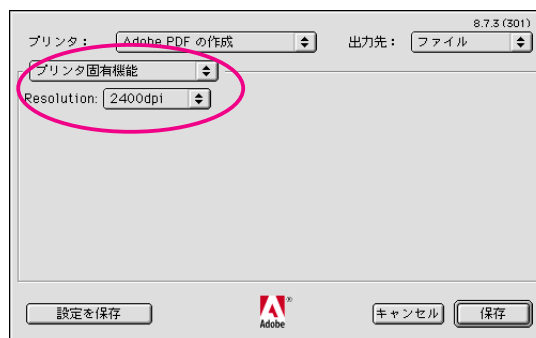
8. 左端のプルダウンメニューから [PostScript 設定] を選び、次のオプションを選択します。

- [形式] は [PostScript ジョブ] を選択します。

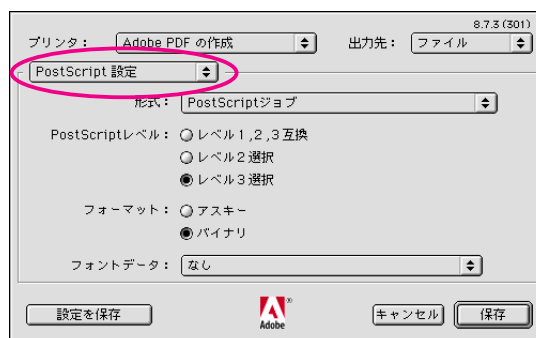
3-InD1M-04 [ファイル] メニュー→ [プリント ...] プルダウンメニューから [PDF 設定] を選択。



3-InD1M-05 [ファイル] メニュー→ [プリント ...] プルダウンメニューから [プリンタ固有機能] を選択。



3-InD1M-06 [ファイル] メニュー→ [プリント ...] プルダウンメニューから [PostScript 設定] を選択。



- [PostScript レベル] は [レベル 3] を選択します。
- [フォーマット] は [バイナリ] を選択します。
- [フォントデータ] は [なし] を選択します。

※ [PostScript レベル] では、最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「このガイドブックについて」－「動作環境」を参照してください。

9. 左端のプルダウンメニューから [トラップ] を選択し、プルダウンメニューから [オフ] を選択します。

※ [Adobe In-RIP] を選択する場合は、出力担当のサービスビューロや印刷会社と相談してください。

※黒をすべてオーバープリントする場合は、事前に [編集] メニュー→ [環境設定] → [一般] にある [黒のオーバープリント] がチェックされているか確認してください。これがデフォルトです。

10. 左端のプルダウンメニューから [グラフィック] を選択し、下記の設定を行います。

を選択し、下記の設定を行います。

- [イメージ解像度] プルダウンメニューから [全て] を選択します。

※ [グラデーションのオプション] の [連続階調の動作] は、昇華型プリンタなど、ハーフトーンスクリーンを使わないデバイスのためのオプションです。

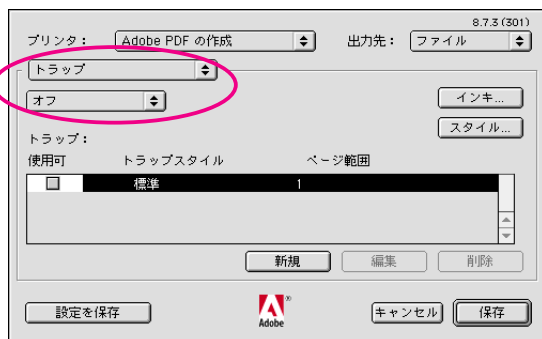
- [OPI/DCS 画像の置き換え] チェックボックスをチェックします。

※後工程で OPI 置換を行う必要がない限り、原則としてすべての印刷用画像をそのまま PDF に埋め込むようにします。

ここをチェックしないと、作成される PDF の画像はプレビュー用画像のままになり、OPI リンク情報を PDF に引き継ぐことになりません。

その際、Distiller のジョブオプションにある [詳細設定] タブー [文書構造化コメント (DSC)] － [OPI コメントを保存] 設定も影響しますので、事前の確認が必要です。

3-InD1M-07 [ファイル] メニュー→ [プリント ...] プルダウンメニューから [トラップ] を選択。



3-InD1M-08 [ファイル] メニュー→ [プリント ...] プルダウンメニューから [グラフィック] を選択。



・ [フォントのダウンロード] プルダウンメニューで [なし] を選択します。これは、PDF で使う埋め込み用フォントを、Distiller 自身がダウンロードするためです。

11. 左端のプルダウンメニューから [カラー] を選択し、[標準 (コンポジット)] をクリックします。

[スクリーン:] プルダウンメニューは [標準] のままにしておきます。PPD ファイルの設定が使われます。ここは原則として後工程で処理される部分であり、PDF 生成時に設定する必要はありません。

12. 左端のプルダウンメニューから [追加オプション] を選択し、[高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択] をクリックします。

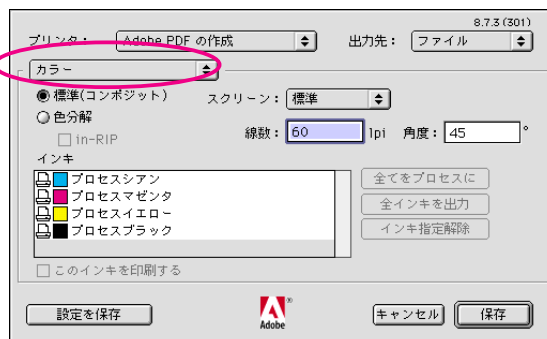
13. [保存] ボタンをクリックします。ファイルを保存するダイアログが表示されます。

このダイアログでファイルを保存する場所を指定します。PDF のファイル名を確認して [保存] ボタンをクリックします。

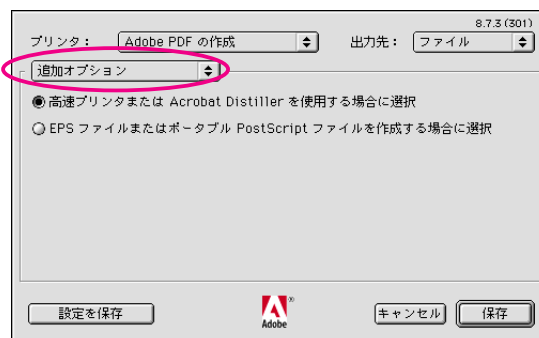
ファイルを保存するダイアログで [保存] ボタンをクリックすると、PostScript ファイルが作成されます。そして、Acrobat Distiller が自動的に起動し、PostScript ファイルを PDF に変換し、PostScript ファイルを削除した後に終了します。

上記 6. で [Adobe Acrobat を起動する]、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択している場合は、Acrobat、または Acrobat Reader が作成された PDF ファイルを開きます。

3-InD1M-09 [ファイル] メニュー→ [プリント ...] プルダウンメニューから [カラー] を選択。



3-InD1M-10 [ファイル] メニュー→ [プリント ...] プルダウンメニューから [追加オプション] を選択。



3-InD1M-11 [保存] ボタンをクリックすると、ファイルを保存するダイアログが表示される。



■設定内容は他のユーザーも利用できる

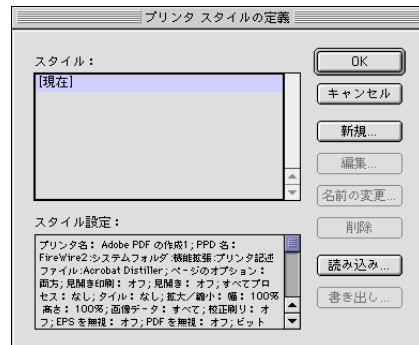
プリント設定の定義（スタイル）は管理することができます。[ファイル]メニュー→[プリント設定]→[定義]を選択すると[プリンタスタイルの定義]ダイアログが現れます。

プリント設定はドキュメント内に一時的に保存されていますが、それは「現在」というスタイル名になっています。

ここで「新規」ボタンをクリックすると、スタイル名を設定するダイアログの後に「プリント」ダイアログが表示されます。

このダイアログで行った各種設定は定義ファイルとして保存しておくことができ、他のユーザーがその設定をそのまま利用することもできます。

3-InD1M-12 [プリンタスタイルの定義]ダイアログ



Adobe InDesign 2.0 日本語版

Windows 2000/XP

■出力前のプリフライトチェック

InDesign 1.0にはプリフライト機能があり、これを使ってドキュメントの品質をチェックすることができます。フォントや必要なファイルが正しく準備されているかなど、出力前のチェックができます。

PDFを作成する前に、プリフライト機能を使って事前に問題点を発見し、解消しましょう。プリフライトは、以下の手順で実行します。

1. [ファイル] メニュー→ [プリフライト ...] を選択します。

2. プリフライトが始まります。[プリフライト ドキュメント] という進行を示すダイアログが表示されます。これが消えると、[プリフライト] ダイアログが表示されます。

プルダウンメニューで、結果が6つの項目に分かれて画面に表示されます。リンク切れの画像やシステムにないフォント、カラスペースなどの確認ができます。

3. [レポート] ボタンをクリックすると、この画面で表示された内容がひとつのテキストファイルとして書き出すことができます。

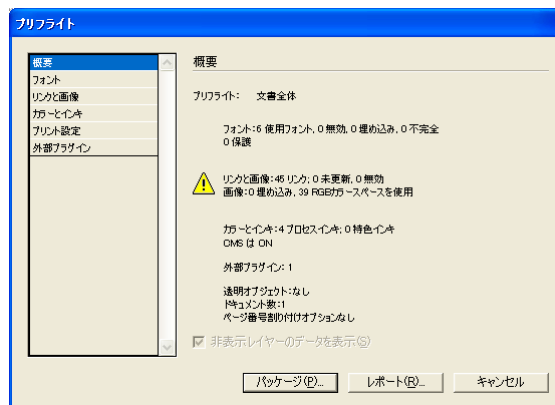
■ Acrobat Distiller プリンタの準備

InDesign 2.0で、Distillerを使ってPDFを作成するには、まず、Distillerプリンタの設定を行います。

1. InDesign 2.0でドキュメントを開きます。

2. [ファイル] メニュー→ [プリント] を選択します。[プリント] ダイアログが表示されます。ダイアログの左側にあるパネル名が [一般] になっているのを確認します。

3-InD2W-01 [プリフライト] ダイアログ



3. プリンタのプルダウンメニューから [Acrobat Distiller] 選択します。

4. ダイアログの下にある [プリンタ ...] ボタンをクリックします。「すべての印刷オプションを、InDesign 上で設定してください」という旨の警告が出る場合がありますが、無視して [OK] ボタンをクリックします。[印刷] ダイアログが表示されます。

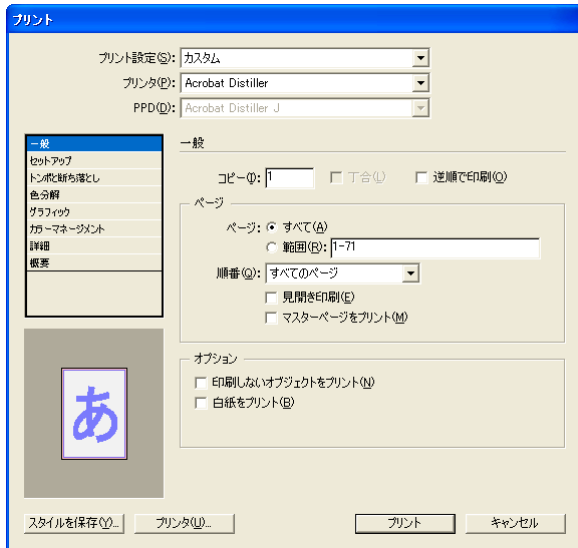
この先は、Windows 2000 と同 XP で操作が異なります。2000 については 5-1、6-1、XP については 5-2 ～ 7-2 を参照してください。

Windows 2000 -----

5-1. [印刷] ダイアログで [Adobe PDF 設定] タブをクリックして、[一般] [ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press]、またはユーザーが独自に設定したジョブオプション名を選択します。

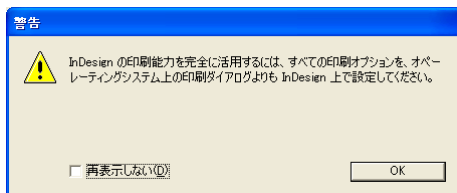
6-1. [印刷] ボタンをクリックして、[印刷] ダイアログを閉じます。[プリント] ダイアログに戻ります。

3-InD2W-02 [プリント] ダイアログ



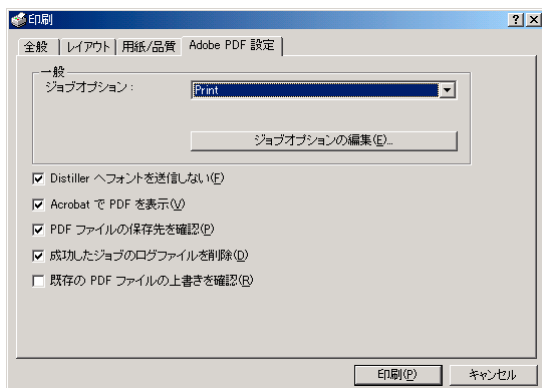
3-InD2W-03

[プリント ...] ボタンをクリックしたときに表示される警告。



3-InD2W-04 [印刷] ダイアログ (Windows 2000)

[Adobe PDF 設定] タブ、[一般] - [ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press] を選択。



Windows XP -----

5-2.Windows XP では、[印刷] ダイアログで [詳細設定] ボタンをクリックします。[用紙設定] ダイアログが表示されます。[Adobe PDF 設定] タブをクリックして、[一般] [ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press]、またはユーザーが独自に設定したジョブオプション名を選択します。

6-2. [用紙設定] ダイアログで [OK] ボタンをクリックします。[印刷ダイアログに戻ります]。

7-2. [印刷] ボタンをクリックして、[印刷] ダイアログを閉じます。[プリント] ダイアログに戻ります。

■ [プリント] ダイアログでの主要設定

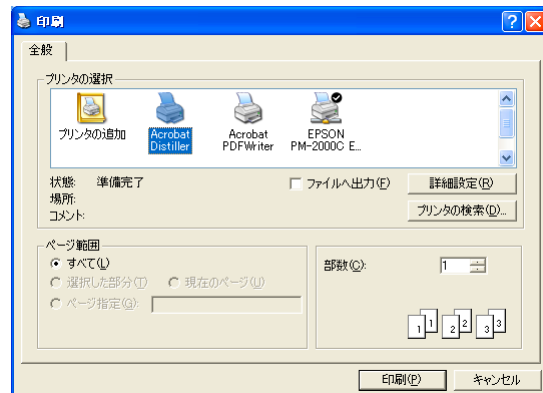
前段の手順で、Distiller プリンタの準備が整いました。次いで、ドキュメントを構成する要素を正しく Distiller プリンタに送るための設定を行います。

1. [プリント] ダイアログで [色分解] パネルを選択し、下記の設定を行います。

・[カラー] プルダウンメニューから [コンポジット CMYK] を選択します。

3-InD2W-05 [印刷] ダイアログ (Windows XP)

[プリンタの選択] - [詳細設定] ボタンをクリック。



※ [テキストを黒] オプションはチェックしてはいけません。白や紙色以外の全ての色のテキストが黒になってしまいます。

• [オーバープリント処理] チェックボックスはチェックしません。

※ [オーバープリント処理] はオーバープリント効果をプリンタなどでシミュレーションしたい場合のオプションです。特色はプロセスカラーに変換されます。印刷用 PDF には適用しません。

※ [カラー] で [色分解 (In-RIP)] を選択する場合は、トラッピングやインキ管理について出力担当のサービスビューロや印刷会社と相談してください。

※黒をすべてオーバープリントする場合は、事前に [編集] メニュー→ [環境設定] → [一般] にある [黒のオーバープリント] がチェックされているか確認してください。通常はこれがデフォルトです。

2. [グラフィック] パネルを選択し、下記の設定を行います。

• [画像] - [解像度:] プルダウンメニューから [すべて] を選択します。

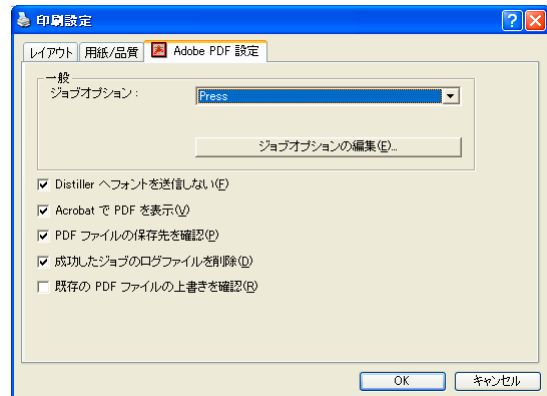
• [フォント]-[ダウンロード:]プルダウンメニューから [なし] を選択します。これは、PDF で使う埋め込み用フォントを、Distiller 自身がダウンロードするためです。ただし、TrueType 書体を利用する場合はサブセットにします。

3. [詳細] パネルを選択し、下記の設定を行います。

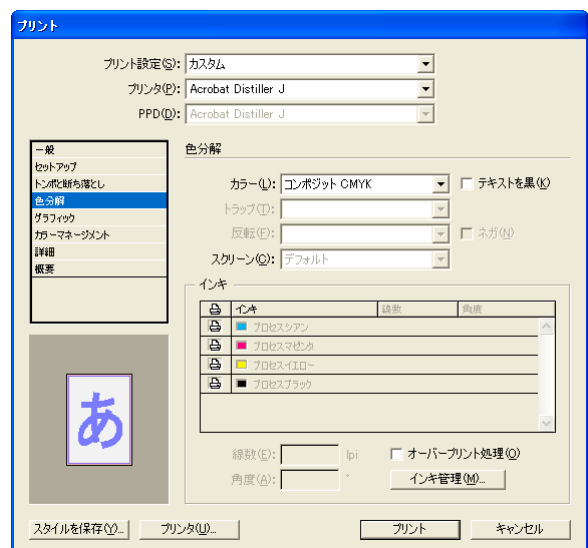
• [OPI] - [OPI 画像の置換] チェックボックスをチェックします。

※後工程で OPI 置換を行う必要がない限り、原則と

3-InD2W-06 [印刷設定] ダイアログ (Windows XP)
[Adobe PDF 設定] タブ、[一般] - [ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press] を選択。



3-InD2W-07 [プリント] ダイアログ [色分解] パネル
• [カラー] プルダウンメニューから [コンポジット CMYK] を選択。
• [オーバープリント処理] チェックボックスはチェックしない。



してすべての印刷用画像をそのまま PDF に埋め込むようにします。ここをチェックしないと、作成される PDF の画像はプレビュー用画像（プロキシ画像）のままになり、OPI リンク情報を PDF に引き継ぎます。その際、Distiller のジョブオプションの [詳細設定] タブ - [文書構造化コメント (DSC)] - [OPI コメントを保存] 設定も影響しますので、事前の確認が必要です。

※ [グラデーション] - [連続階調の動作] チェックボックスは、昇華型プリンタや連続階調をもったカラーレーザープリンタなど、ハーフトーンスクリーンを使わないデバイスのためのオプションです。

・[透明] - [スタイル] プルダウンメニューは [高解像度] を選択します。

※透明の設定は透明効果だけでなく、オーバープリントなどにも影響する場合があります。

・[透明] - [スプレッドオーバーライドを無視] チェックボックスはチェックしません。

※各スプレッドに設定できる透明の統合化スタイルをすべて無視する場合にはチェックを入れます。

■ PostScript 出力、PDF 作成を行う

前段の手順で出力の準備が整いました。ついで、PDF 出力に移ります。

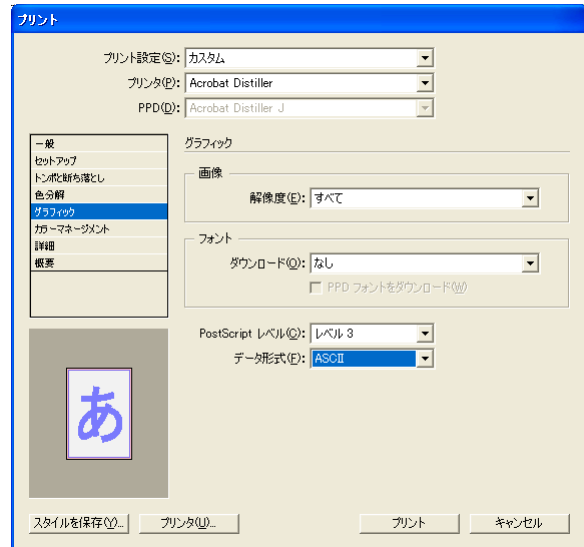
1. [プリント] ダイアログで [プリント] ボタンをクリックします。[PDF ファイルの保存] ダイアログが表示されます。

2. [PDF ファイルの保存] ダイアログから PDF を保存したいフォルダを選択し、PDF ファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックします。その後、

3-InD2W-08

[プリント] ダイアログ [グラフィック] パネル

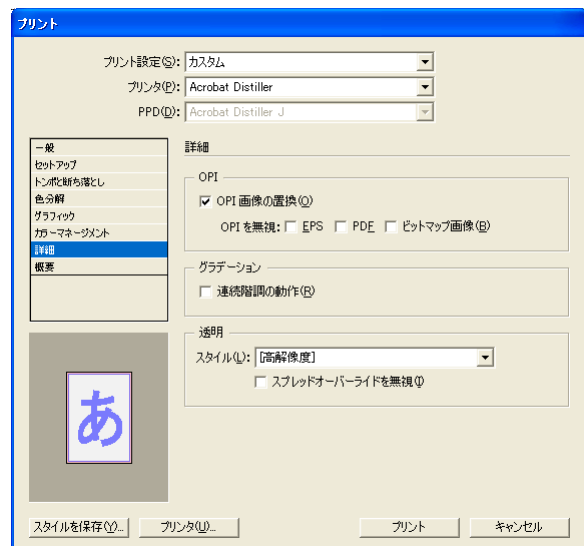
- ・[画像] - [解像度:] プルダウンメニューから [すべて] を選択。
- ・[フォント] - [ダウンロード:] プルダウンメニューから [なし] を選択。



3-InD2W-09

[プリント] ダイアログ [詳細] パネル

- ・[OPI] - [OPI 画像の置換] チェックボックスをチェック。
- ・[透明] - [スタイル] プルダウンメニューで [高解像度] を選択。
- ・[透明] - [スプレッドオーバーライドを無視] チェックボックスはチェックしない。



PostScript ファイルが出力され、Distiller が PDF を自動で作成します。

※ [プリント] ダイアログで [プリント] ボタンをクリックすると設定内容がドキュメント内に一時的に保存され、[PDF ファイルの保存] ダイアログが表示されます。

[スタイルを保存 ...] ボタンをクリックすると、設定内容をプリント設定の定義 (スタイル) として保存することができます。

■設定内容は他のユーザーも利用できる

プリント設定の定義 (スタイル) は管理することができます。[ファイル]メニュー→[プリント設定]→[定義]を選択すると [プリンタスタイルの定義] ダイアログが現れます。

プリント設定はドキュメント内に一時的に保存されていますが、それは [デフォルト] というスタイル名になっています。ここで [新規] ボタンをクリックすると、[プリント] ダイアログが表示されます。

このダイアログで行った各種設定を定義ファイル

として保存しておくことができ、他のユーザーがその設定をそのまま利用することもできます。ただし、[プリンタ] ボタンをクリックし、[印刷] ダイアログで設定したものは引き継がれませんので、注意してください。

設定内容を他のユーザーが利用するには、[プリントスタイルの定義] ダイアログで、[保存] ボタンをクリックします。「プリントスタイルの保存」ダイアログが表示されます。

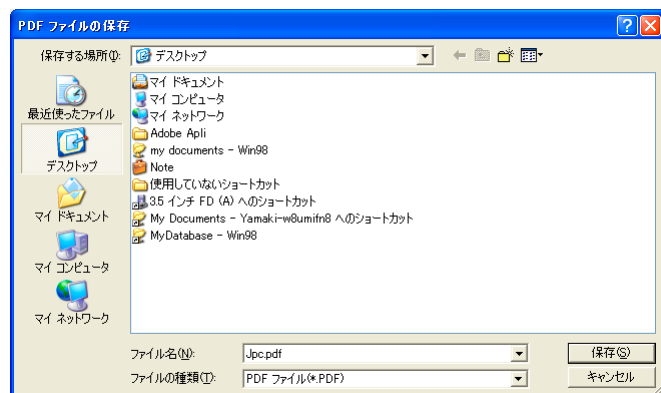
[保存] ボタンをクリックすると、スタイルで設定した内容がファイルで保存されます。

■「透明」オブジェクトを含む場合の設定

InDesign のファイル中に、透明効果を施したオブジェクトがある場合には、出力に関して特別の設定をする必要があります。この設定には、下記の2つのダイアログを使います。

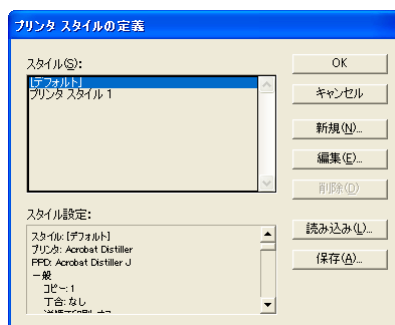
- (1) [編集] メニュー→ [透明部分の設定] → [透明統合スタイル] ダイアログ
- (2) [ファイル] メニュー→ [プリント] → [プリント] ダイアログ→ [詳細] パネル→ [透明]

3-InD2W-10 [PDF ファイル保存] ダイアログ



3-InD2W-11

[プリントスタイルの定義] ダイアログ

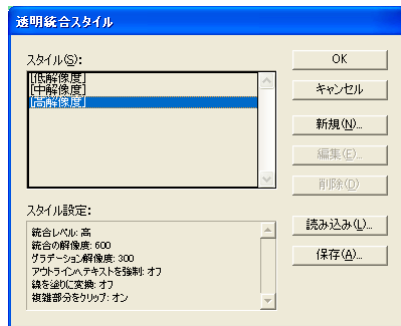


透明オブジェクトは、出力に先立ってラスターデータとベクターデータに分解しておく必要があります。このことを「分割」と言います。上記（1）で設定した透明分割のスタイルを（2）で選択します。

（1）は、透明の分割条件をスタイル登録するためのものです。標準の[スタイル]が[低解像度][中解像度][高解像度]と3種類あります。通常、印刷用のPDFを作成する場合には、[高解像度]を推奨します。（1）のダイアログで選択したスタイルが当該ドキュメントのデフォルトとなります。

標準以外のスタイルを登録するには、[透明統合スタイル]ダイアログで、[新規]ボタンをクリックします。[透明部分の設定]ダイアログが表示されます。

3-InD2W-12 [透明統合スタイル] ダイアログ [スタイル:] で、[高解像度] を選択。



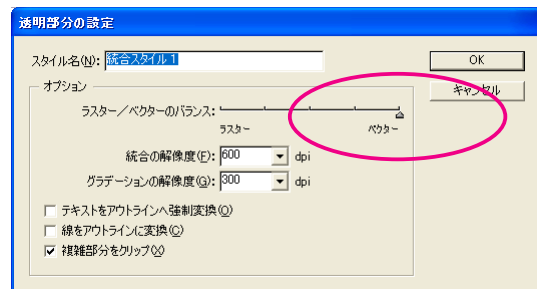
[スタイル名:] はデフォルトでは [統合スタイル 1] と表示されますが、任意な名称を設定できます。その他のオプションは、出力部門、または出力担当会社と相談して決めてください。

■スプレッドごとにスタイルを適用する

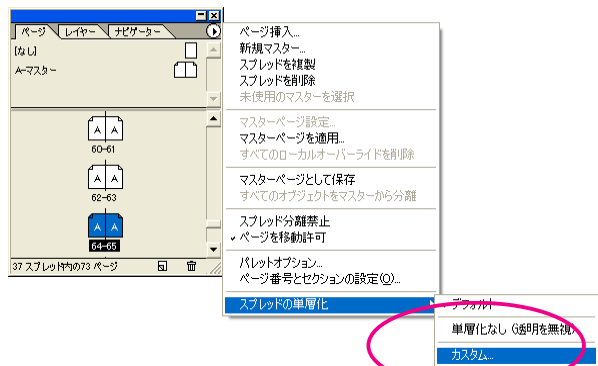
（1）のとは違う設定を、個別のスプレッド（見開き）に適用するには、設定を適用したいスプレッドを表示した状態で、[ページ] パレットメニュー → [スプレッドの単層化] → [カスタム] を選択します。

[透明部分の設定] ダイアログが表示されます。このダイアログは、[スタイル名:] が無い場合は、（1）の [透明統合スタイル] ダイアログ → [新規] ボタンで表示される [透明部分の設定] ダイアログと同じです。

3-InD2W-13 [透明部分の設定] ダイアログ [ラスター/ベクターのバランス:] のスライダーを一番右側に設定する。



3-InD2W-14 スプレッドへの適用 [ページ] パレットメニュー → [スプレッドの単層化] → [デフォルト]



この場合も、「ラスター／ベクターのバランス：」のスライダ（△）は、必ず一番右側に設定してください。その他のオプションは、出力部門、または出力担当会社と相談して決めてください。

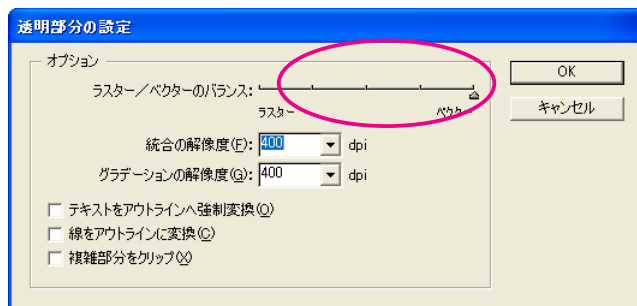
■ドキュメント全体を同一条件で出力する

上記（２）の「プリント...」ダイアログ「詳細」パネル「透明」は、出力時の設定です。この場合も「高解像度」を推奨します。

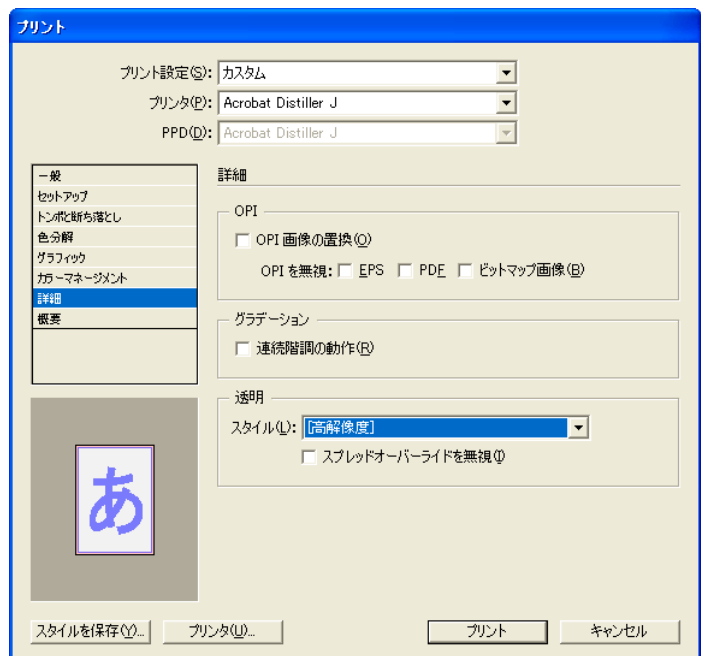
この場合、上記「カスタムの「透明統合スタイル」

を設定する」で作成したカスタムの「透明統合スタイル」を利用できます。カスタムの「透明統合スタイル」が設定されている場合には、「スタイル」プルダウンメニューに表示されます。

なお、パネルで「スプレッドオーバーライドを無視」オプションは、スプレッドごとに設定された「スタイル」を無視して、このダイアログの「スタイル」プルダウンメニューで選択された「スタイル」を、ドキュメント中のすべての透明に適用する、という意味です。



3-InD2W-15 「透明部分の設定」ダイアログ
「ラスター／ベクターのバランス：」のスライダを、一番右側に設定する。



3-InD2W-16
「プリント...」ダイアログ「詳細」パネル「透明」

Adobe InDesign 2.0 日本語版

Mac OS 9.2.2

■出力前のプリフライトチェック

InDesign 2.0 は、プリフライト機能を使ってドキュメントの品質をチェックすることができます。

フォントや必要なファイルが正しく準備されているかなど、出力前のチェックができます。

InDesign のプリフライト機能は、次の手順で実行します。

1. [ファイル] メニュー→ [プリフライト ...] を選択します。

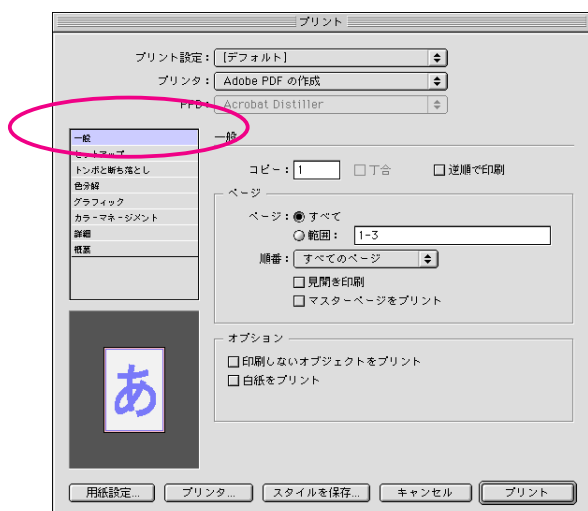
2. プリフライトが始まります。結果が6つの項目に分かれて画面に表示されます。リンク切れの画像やシステムにないフォント、カラースペースのチェックなどの確認ができます。

■ Acrobat Distiller プリンタの準備

InDesign 2.0 で、Distiller を使って PDF を作成するには、まず、Distiller プリンタの設定を行います。

1. InDesign 2.0 でドキュメントを開きます。

3-InD2M-2 [プリント] ダイアログ
パネル名が [一般] になっているのを確認。



3-InD2M-1 [プリフライト] ダイアログ

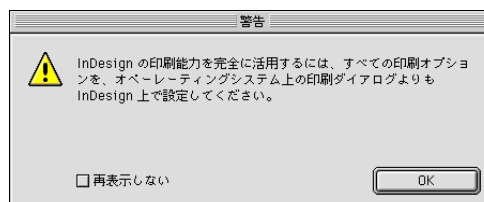


2. [ファイル] メニュー→ [プリント ...] を選択します。[プリント] ダイアログが表示されます。ダイアログの左側にあるパネル名が [一般] になっているのを確認します。

3. ダイアログの下にある [用紙設定 ...] ボタンをクリックします。「すべての印刷オプションを、InDesign 上で設定してください」という旨の警告が出たら、[OK] ボタンをクリックします。ダイアログが表示されます。

3-InD2M-3 [警告] ダイアログ

[用紙設定 ...] ボタンをクリックすると表示されることがある。



4. [プリンタ] プルダウンメニューから [Adobe PDF の作成] を選択します。

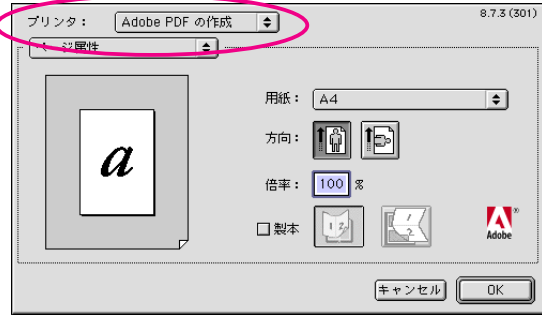
5. ダイアログ左端のプルダウンメニューから [PostScript オプション] を選択します。[PostScript オプション] ダイアログボックスにあるすべてのチェックを外し、[OK] ボタンを押してダイアログを閉じます。[プリント] ダイアログに戻ります。

6. [プリント] ダイアログの [プリンタ:] プルダウンメニューが [Adobe PDF の作成] に、[PPD:] が [Acrobat Distiller J] になっていることを確認します。

7. [プリント] ダイアログの下にある [プリンタ...] ボタンをクリックします。「すべての印刷オプションを、InDesign 上で設定してください」という旨の警告が出る場合がありますが、無視して [OK] ボタンをクリックします。ダイアログが表示されます。

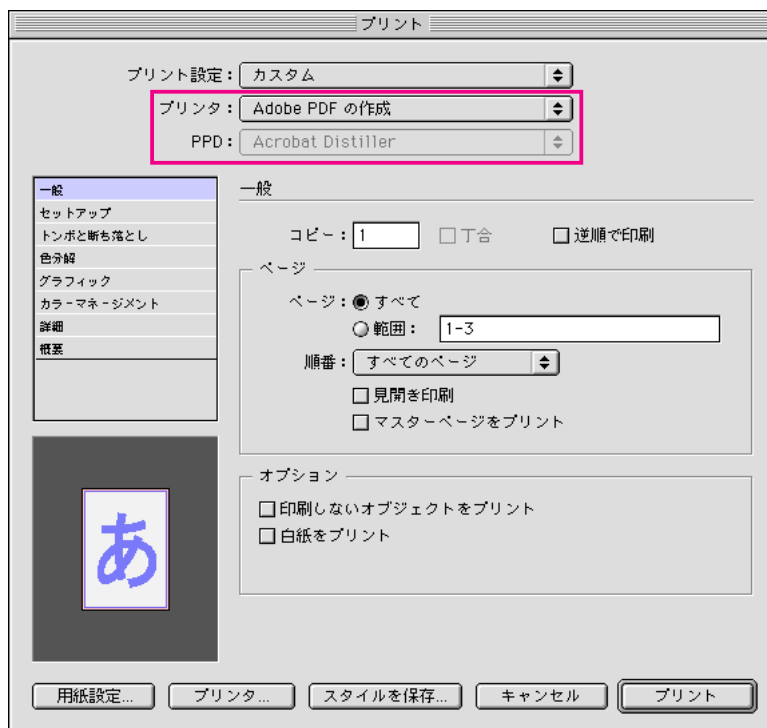
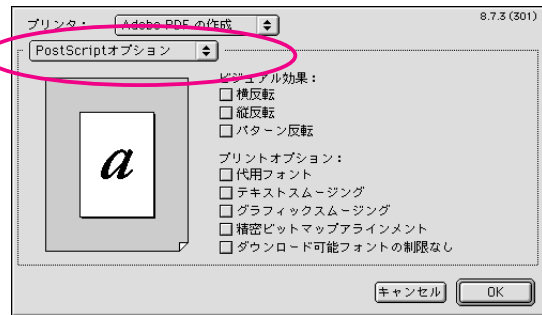
3-InD2M-4

[プリント] ダイアログの [用紙設定...] ボタンをクリックすると現れるダイアログ。[プリンタ:] プルダウンメニューで [Adobe PDF の作成] を選択。



3-InD2M-5

[プリント] ダイアログの [用紙設定...] ボタンをクリックすると現れるダイアログ。[PostScript オプション] を選択。



3-InD2M-6 [プリント] ダイアログ [プリンタ:] と [PPD:] を確認。

8. ダイアログ左端のプルダウンメニューから [PDF 設定] を選択して、[ジョブオプション:] プルダウンメニューから [Press]、またはユーザーが独自に設定したジョブオプション名を選択します。

PDF 作成後、作成された PDF を自動表示するために、[PDF 作成後:] プルダウンメニューで、[Adobe Acrobat を起動する]、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択します。PDF 作成後、PDF の自動表示の必要がない場合は、[何も起動しない] を選択します。

9. 左端のプルダウンメニューから [プリンタ固有機能] を選択し、解像度を選択します。ここではイメージセッターなど高品位出力する印刷用 PDF ファイルを作成したい時、2400 dpi を選択します。Distiller の [Press] ジョブオプションも 2400 dpi の解像度になっています。

※ [プリンタ固有機能] で 2400dpi 以上の解像度を設定する場合には、事前にカスタマイズした Distiller のジョブオプションを作成し、設定値を合わせるようにしてください。

10. 左端のプルダウンメニューから [PostScript 設定] を選び、次のオプションを選択します。

- ・ [形式:] は [PostScript ジョブ] を選択します。
- ・ [PostScript レベル:] は [レベル 3] を選択します。
- ・ [フォーマット:] は [バイナリ] を選択します。
- ・ [フォントデータ:] は [なし] を選択します。

※ [PostScript レベル:] では、最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「このガイドブックについて」－「動作環境」を参照してください。

11. 左端のプルダウンメニューから [追加オプ

3-InD2M-7

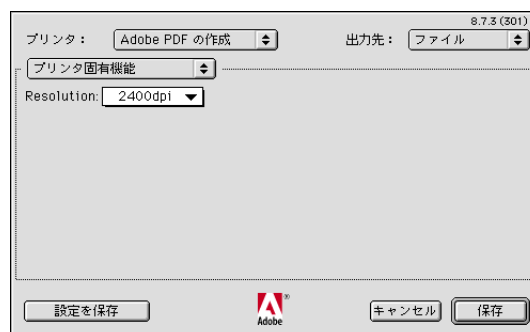
[プリント] ダイアログ [プリンタ...] ボタンをクリックすると表示されるダイアログ。

[ジョブオプション:] と [PDF 作成後:] を確認設定。



3-InD2M-8

[プリンタ固有機能] で [[Resolution:]] を設定。



3-InD2M-9

[PostScript 設定] で [形式]、[PostScript レベル]、[フォーマット]、[フォントデータ] を設定。



ション] を選択し、[高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択] をクリックします。

12. [保存] ボタンをクリックします。ファイルを保存するダイアログが表示されます。

このダイアログでファイルを保存する場所を指定します。PDF のファイル名を確認して [保存] ボタンをクリックします。

ファイルを保存するダイアログが閉じ、[プリント] ダイアログに戻ります。

■ PostScript 出力、PDF 作成を行う

前段の手順で出力の準備が整いました。ついで、PDF 出力に移ります。以下は、[プリント] ダイアログ上の操作です。

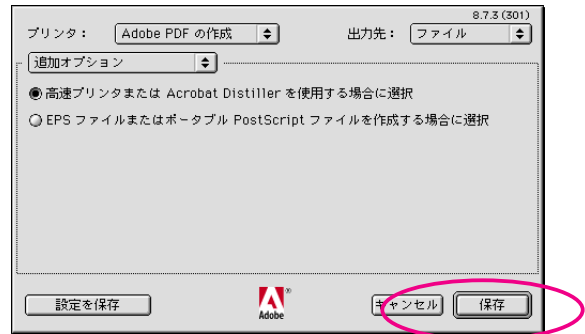
1. [色分解] パネルを選択し、下記の設定を行います。

- ・[カラー] プルダウンメニューから [コンポジット CMYK] を選択します。

※ [テキストを黒] チェックボックスはチェックし

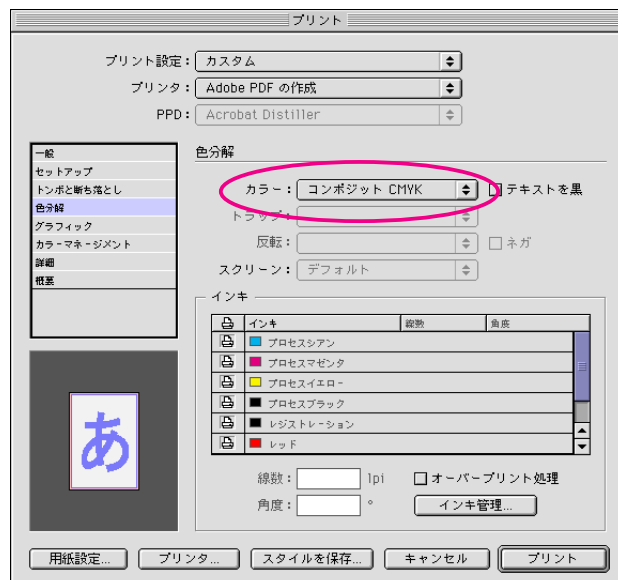
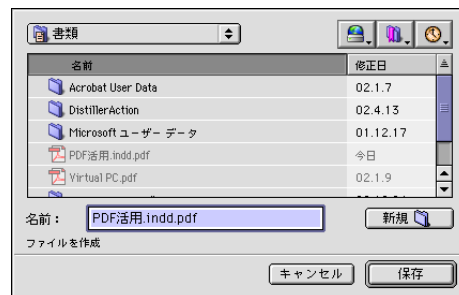
3-InD2M-10

[追加オプション] を設定後、[保存] ボタンをクリック。



3-InD2M-11

[保存] ボタンをクリックすると表示されるファイル保存のダイアログ。



3-InD2M-12 [プリント] ダイアログ

[色分解] パネル [カラー] プルダウンメニューから [コンポジット CMYK] を選択。

てはいけません。白や紙色以外の全ての色のテキストが黒になってしまいます。

・[オーバープリント処理] チェックボックスはチェックしません。

※ [オーバープリント処理] はオーバープリント効果をプリンタなどでシミュレーションしたい場合のオプションです。特色はプロセスカラーに変換されます。印刷用 PDF には適用しません。

※ [カラー] で [色分解 (In-RIP)] を選択する場合は、トラッピングやインキ管理について出力担当のサービスビューロや印刷会社と相談してください。

※黒をすべてオーバープリントする場合は、事前に [編集] メニュー → [環境設定] → [一般] にある [黒のオーバープリント] がチェックされているか確認してください。通常はこれがデフォルトです。

2. [グラフィック] パネルを選択し、下記の設定を行います。

・[画像] - [解像度:] プルダウンメニューから [すべて] を選択します。

・[フォント] - [ダウンロード:] プルダウンメニューで [なし] を選択します。これは、PDF で使う埋め込み用フォントを、Distiller 自身がダウンロードするためです。

・[PostScript レベル:] は、[レベル 3] を選択します。

・[データ形式:] プルダウンメニューは [バイナリ] を選択します。

※ [PostScript レベル:] では、最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「このガイドブックについて」 - 「動作環境」を参照してください。



3-InD2M-13 [プリント] ダイアログ [グラフィック] パネルで下記を設定。

- ・[画像] - [解像度:]
- ・[フォント] - [ダウンロード:]
- ・[PostScript レベル:]
- ・[データ形式:]

3. [詳細] パネルを選択し、下記の設定を行います。

- [OPI] — [OPI 画像の置換] チェックボックスを
チェックします。

※後工程で OPI 置換を行う必要がない限り、原則としてすべての印刷用画像をそのまま PDF に埋め込むようにします。ここをチェックしないと、作成される PDF の画像はプレビュー用画像（プロキシ画像）のままになり、OPI リンク情報 PDF に引き継ぐことができます。その際、Distiller のジョブオプションにある [OPI コメントを保存] 設定も影響しますので、事前の確認が必要です。

- ※ [グラデーション] — [連続階調の動作] チェックボックスは、昇華型プリンタや連続階調をもったカラーレーザープリンタなどハーフトーンスクリーンを使わないデバイスのためのオプションです。

- [透明] — [スタイル] プルダウンメニューで [高

解像度] を選択します。

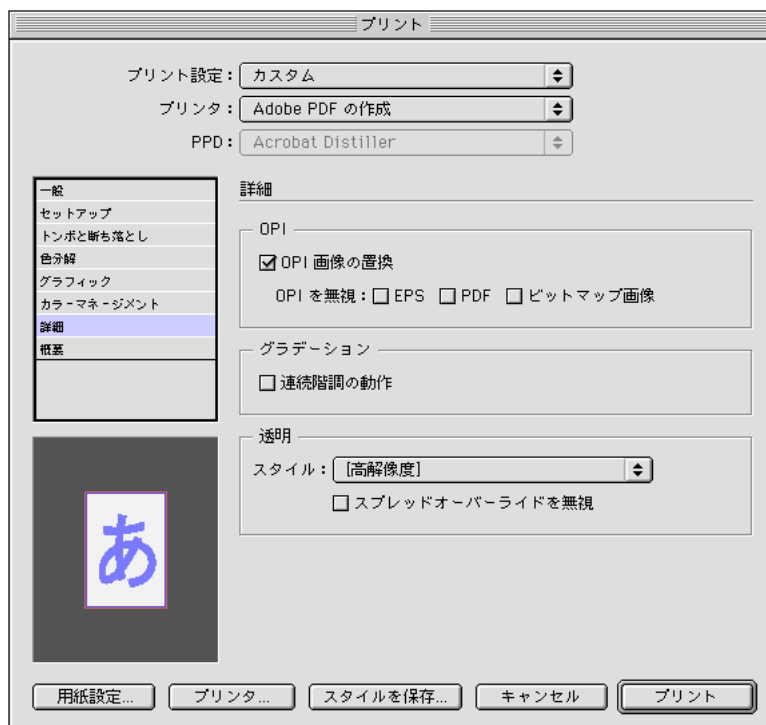
※透明の設定は透明効果だけでなく、オーバープリントなどにも影響する場合があります。

- [透明] — [スプレッドオーバーライドを無視] チェックボックスはチェックしません。

※各スプレッドに設定できる透明の統合化スタイルをすべて無視する場合にはチェックを入れます。

4. [プリント] ダイアログの [プリント] ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

[プリント] ボタンをクリックすると、PostScript ファイルが作成されます。そして、Acrobat Distiller が自動的に起動し、PostScript ファイルを PDF に変換し、PostScript ファイルを削除した後に終了します。



3-InD2M-14 [プリント] ダイアログ
[詳細] パネルで下記を設定。

- [OPI] — [OPI 画像の置換]
- [透明] — [スタイル]
- [透明] — [スプレッドオーバーライドを無視]

上記 8. で [Adobe Acrobat を起動する]、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択している場合は、Acrobat、または Acrobat Reader が作成された PDF ファイルを開きます。

■設定内容は他のユーザーも利用できる

プリント設定の定義（スタイル）は管理することができます。[ファイル]メニュー→[プリント設定]→[定義]を選択すると [プリンタスタイルの定義] ダイアログが現れます。

プリント設定はドキュメント内に一時的に保存されていますが、それは [デフォルト] というスタイル名になっています。

ここで [新規] ボタンをクリックすると、スタイル名を設定するダイアログの後に [プリント] ダイアログが表示されます。

このダイアログで行った各種設定を定義ファイルとして保存しておくことができ、他のユーザーがその設定をそのまま利用することもできます。

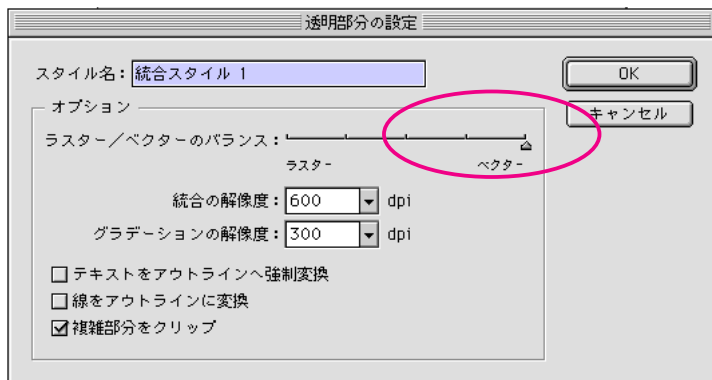
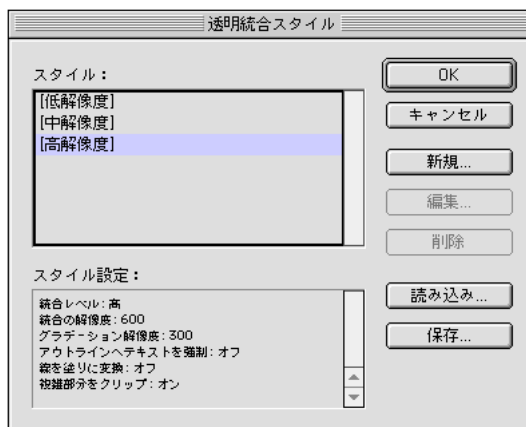
■「透明」オブジェクトを含む場合の設定

InDesign のファイル中に、透明効果を施したオブジェクトがある場合には、出力に関して特別の設定をする必要があります。この設定には、下記の 2 つのダイアログを使います。

3-InD2M-14 [プリンタスタイルの定義] ダイアログ



3-InD2M-15 [透明統合スタイル] ダイアログ [スタイル:] で [高解像度] を選択。



3-InD2M-16 [透明部分の設定] ダイアログ [ラスター／ベクターのバランス:] のスライダを一番右側に設定する。

(1) [編集] メニュー→ [透明部分の設定] → [透明統合スタイル] ダイアログ

(2) [ファイル] メニュー→ [プリント] → [プリント] ダイアログ→ [詳細] パネル→ [透明]

透明オブジェクトは、出力に先立ってラスターデータとベクターデータに分解しておく必要があります。このことを「分割」と言います。上記(1)で設定した透明分割のスタイルを(2)で選択します。

(1)は、透明の分割条件をスタイル登録するためのものです。標準の[スタイル]が[低解像度][中解像度][高解像度]と3種類あります。通常、印刷用のPDFを作成する場合には、[高解像度]を推奨します。(1)のダイアログで選択したスタイルが当該ドキュメントのデフォルトとなります。

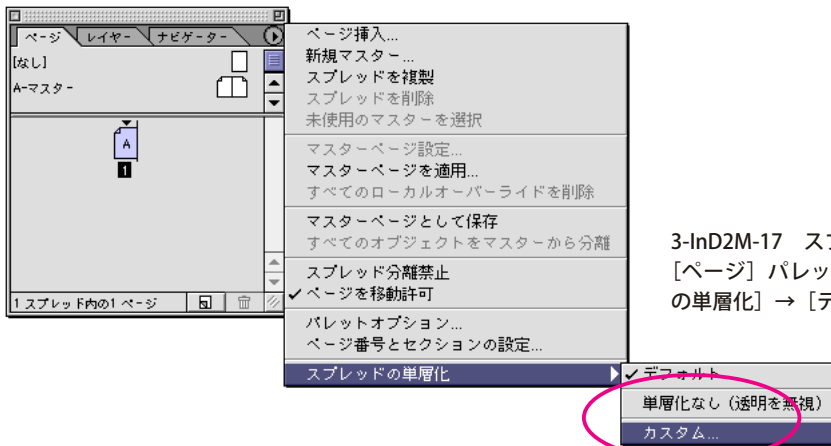
標準以外のスタイルを登録するには、[透明統合スタイル]ダイアログで、[新規] ボタンをクリックします。[透明部分の設定]ダイアログが表示されます。

[スタイル名:] はデフォルトでは [統合スタイル 1] と表示されますが、任意な名称を設定できます。その他のオプションは、出力部門、または出力担当会社と相談して決めてください。

■スプレッドごとにスタイルを適用する

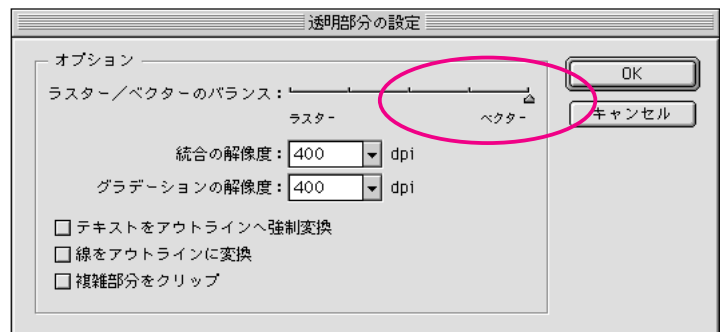
(1)のとは違う設定を、個別のスプレッド(見開き)に適用するには、設定を適用したいスプレッドを表示した状態で、[ページ] パレットメニュー→ [スプレッドの単層化] → [カスタム] を選択します。

[透明部分の設定] ダイアログが表示されます。



3-InD2M-17 スプレッドへの適用
[ページ] パレットメニュー→ [スプレッドの単層化] → [デフォルト]

3-InD2M-18 [透明部分の設定] ダイアログ
[ラスター/ベクターのバランス:] のスライダを、一番右側に設定する。



このダイアログは、[スタイル名:] がない場合は、(1) の [透明統合スタイル] ダイアログ→ [新規] ボタンで表示される [透明部分の設定] ダイアログと同じです。

この場合も、[ラスター/ベクターのバランス:] のスライダ (△) は、必ず一番右側に設定してください。その他のオプションは、出力部門、または出力担当会社と相談して決めてください。

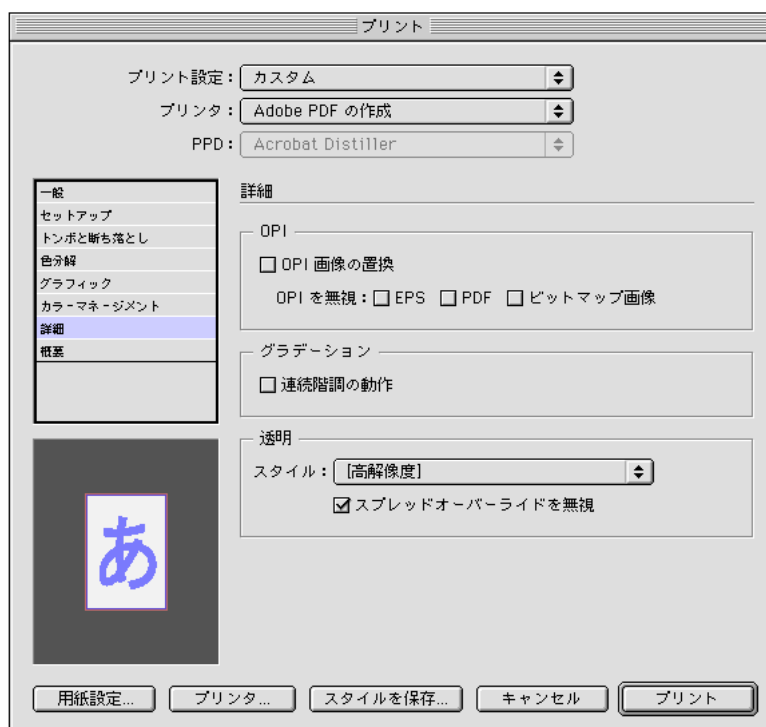
■ドキュメント全体を同一条件で出力する

上記(2)の [プリント...] ダイアログ→ [詳細] パネル→ [透明] は、出力時の設定です。この場合も [高解像度] を推奨します。

この場合、上記「カスタムの [透明統合スタイル] を設定する」で作成したカスタムの [透明統合スタイル] を利用できます。カスタムの [透明統合スタイル] が設定されている場合には、[スタイル] プルダウンメニューに表示されます。

なお、パネルで「スプレッドオーバーライドを無視」オプションは、スプレッドごとに設定された [スタイル] を無視して、このダイアログの [スタイル] プルダウンメニューで選択された [スタイル] を、ドキュメント中のすべての透明に適用する、という意味です。

3-InD2M-19
[プリント...] ダイアログ→ [詳細]
パネル→ [透明]



Adobe PageMaker 6.5 Plus 日本語版

Mac OS 9.2.2

■ PDF ファイル作成手順

PageMaker のドキュメントから PDF ファイルを作成する前に、Step 2 「セットアップ」の手順に沿って PostScript プリンタドライバの設定を行ってください。

PDF ファイル作成の手順は、以下の通りです。

1. デスクトップでデスクトッププリンタの「Adobe PDF の作成」をクリックし、[プリンタ] メニュー→ [省略時プリンタに指定] を選択しておきます。

2. PageMaker でドキュメントを開き、[ファイル] メニュー→ [ドキュメント設定...] を選びます。「ドキュメント設定」ダイアログが表示されます。[使用するプリンタの解像度:] を設定します。

イメージセッターなど高品位出力する印刷用 PDF ファイルを作成したい時、2400 dpi を選択します。Distiller の [Press] ジョブオプションも 2400 dpi の解像度になっています。

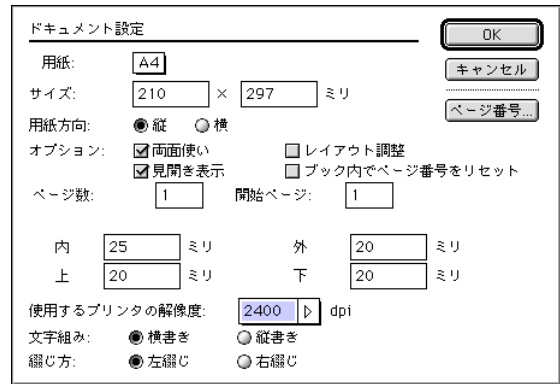
[OK] ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

3. [ファイル] メニュー→ [データ書き出し] → [Adobe PDF...] を選択します。[Adobe PDF 書き出し] ダイアログが表示されます。

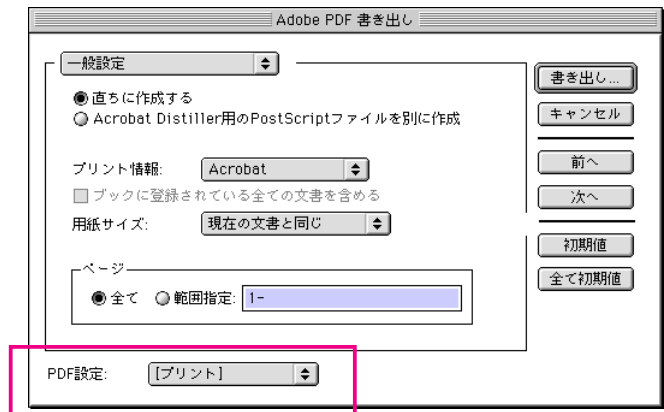
4. 左下端の [PDF 設定:] のプルダウンメニューから [プリント] を選択します。

5. 左上端のプルダウンメニューから [一般

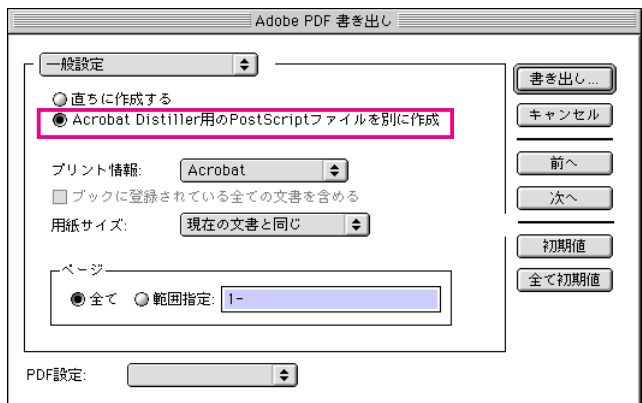
3-PM65M9-01 [ドキュメント設定] ダイアログ
[使用するプリンタの解像度:] を設定。



3-PM65M9-02 [Adobe PDF 書き出し] ダイアログ
[PDF 設定:] のプルダウンメニューから [プリント] を選択



3-PM65M9-03 [Adobe PDF 書き出し] ダイアログ
[Acrobat Distiller 用の...] をクリック。



設定] を選択します。[Acrobat Distiller 用の PostScript ファイルを別に作成] をクリックします。

上記の操作をすると、[PDF 設定:] から [プリント] が消えますが、他の設定は変化しませんので、無視して次の操作に移ります。

6. 左上端のプルダウンメニューで、各項目が必要な設定になっているか確認します。

7. この設定を繰り返し利用する場合には、[PDF 設定:] プルダウンメニューから [PDF 設定の保存] を選択します。[PDF 設定の保存] ダイアログが表示されます。

8. 設定内容がダイアログ下部に表示されますので、内容を確認します。問題がなければ、[新規 PDF 設定の保存:] 欄に適切な名称を入力します。

9. [保存] ボタンをクリックすると、設定内容が保存され、[Adobe PDF 書き出し] ダイアログに戻ります。[PDF 設定:] プルダウンメニューに保存した名称が表示されます。

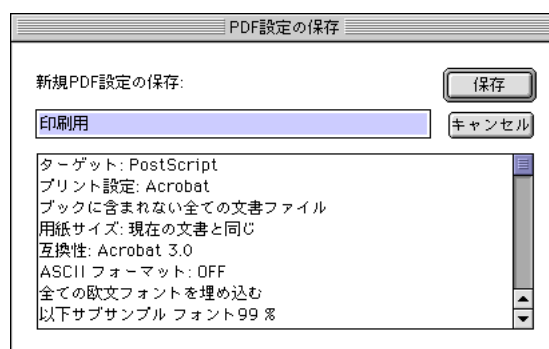
10. [書き出し] ボタンをクリックすると、ファイル保存のダイアログが表示されます。適当な名称を入力します。

11. [保存] ボタンをクリックすると、PostScript ファイルが作成されます。

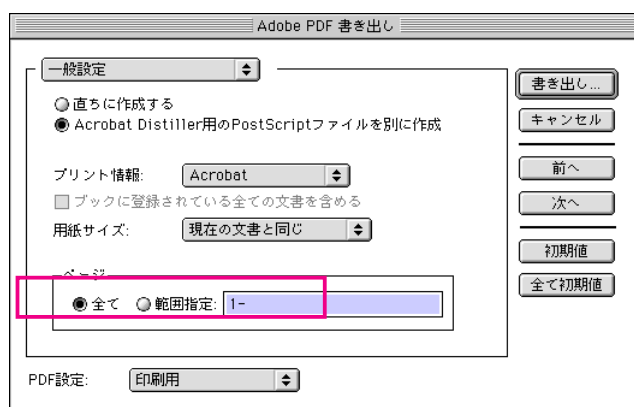
12. Acrobat Distiller を起動し、[ジョブオプション] プルダウンで [Press] またはユーザーが独自に設定したジョブオプションを選択します。

13. 作成された PostScript ファイルを、

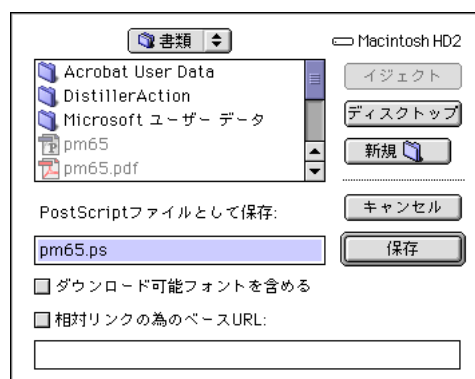
3-PM65M9-04 [PDF 設定保存] ダイアログ



3-PM65M9-05 [Adobe PDF 書き出し] ダイアログ
[PDF 設定:] プルダウンメニューに保存した名称が表示される。

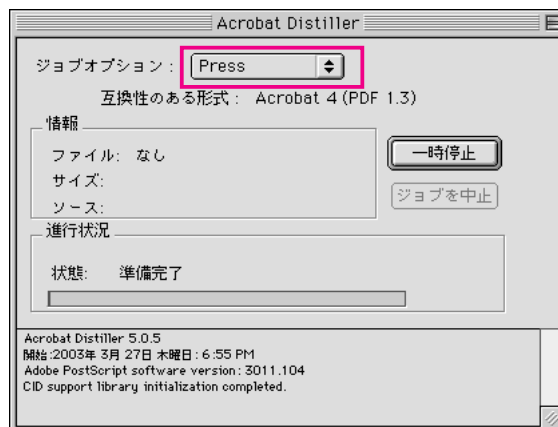


3-PM65M9-06 ファイル保存のダイアログ



Acrobat Distiller アイコン、または Distiller ウィンドウにドラッグアンドドロップします。PDF ファイルが作成されます。

3-PM65M9-07 ファイル保存のダイアログ
Distiller で[ジョブオプション]プルダウンメニューで[Press]を選択。



Adobe PageMaker 7 日本語版

Mac OS 9.2.2

■ PDF ファイル作成手順

PageMaker のドキュメントから PDF ファイルを作成する前に、Step 2「セットアップ」の手順に沿って PostScript プリンタドライバの設定を行ってください。

PDF ファイル作成の手順は、以下の通りです。

1. デスクトップでデスクトッププリンタの [Adobe PDF の作成] をクリックし、[プリンタ] メニューから [省略時プリンタに指定] を選択しておきます。

2. PageMaker でドキュメントを開き、[ファイル] メニュー→ [ドキュメント設定...] を選びます。「ドキュメント設定」ダイアログが表示されます。[使用するプリンタの解像度:] を設定します。

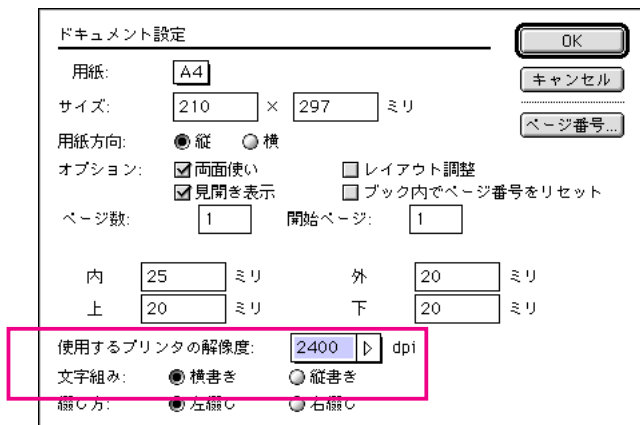
イメージセッターなど高品位出力する印刷用 PDF ファイルを作成したい時、2400 dpi を選択します。Distiller の [Press] ジョブオプションも 2400 dpi の解像度になっています。

[OK] ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。

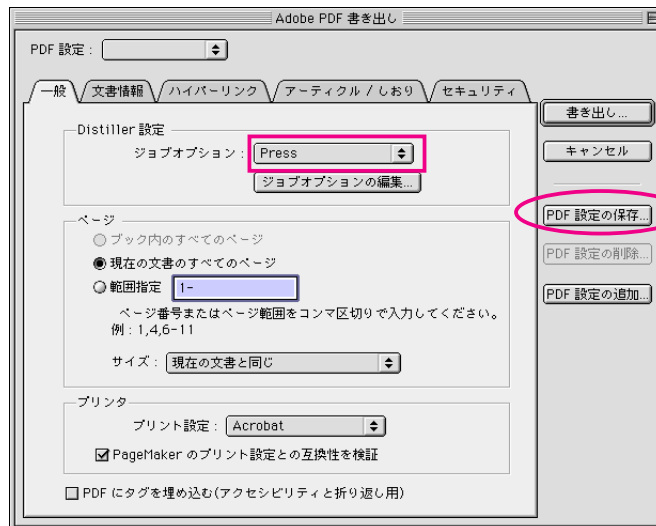
3. [ファイル] メニュー→ [データ書き出し] → [Adobe PDF...] を選択します。[Adobe PDF 書き出し] ダイアログが表示されます。

4. [Adobe PDF 書き出し] ダイアログの [一般] タブ→ [Distiller 設定] - [ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press]、またはユーザーが独自に設定した Distiller ジョブ

3-PM7M9-01 [ドキュメント設定] ダイアログ
[使用するプリンタの解像度:] を設定。



3-PM7M9-02 [Adobe PDF 書き出し] ダイアログ
[ジョブオプション:] で [Press] を選択。



オプションを選択します。

5. [一般]、[文書情報]、[ハイパーリンク]、[アーティクル/しおり]、[セキュリティ] タブにある項目を、必要に応じて変更します。

6. この設定を繰り返し利用する場合には、[PDF 設定の保存] ボタンをクリックします。[PDF 設定の保存] ダイアログが表示されます。

7. 設定内容がダイアログ下部に表示されますので、内容を確認します。問題がなければ、[新規 PDF 設定の保存:] 欄に適切な名称を入力します。

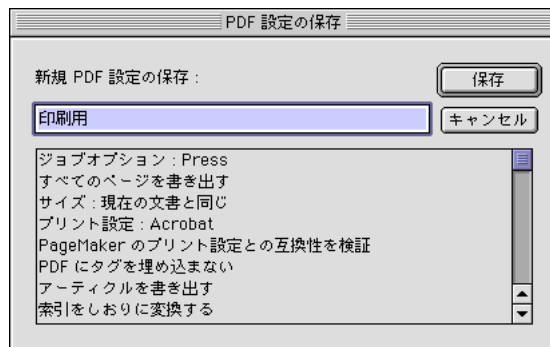
8. [保存] ボタンをクリックすると、設定内容が保存され、[Adobe PDF 書き出し] ダイアログに戻ります。[PDF 設定:] プルダウンメニューに保存した名称が表示されます。

9. [書き出し] ボタンをクリックすると、ファイル保存のダイアログが表示されます。適当な名称を入力します。

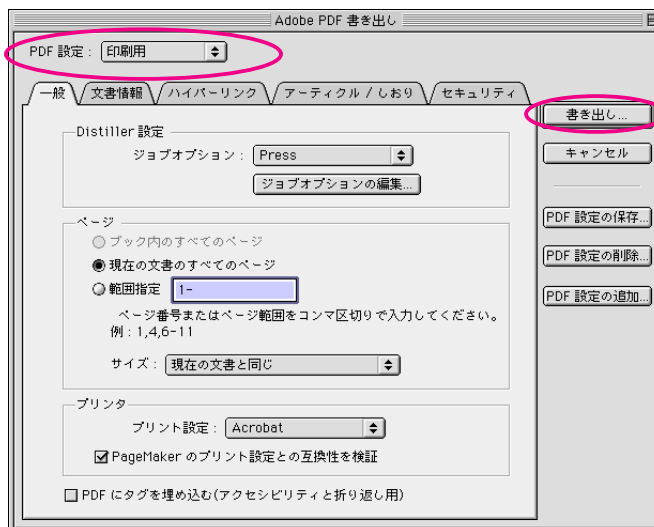
PDF 作成後、直ちに PDF を閲覧したいときは、ダイアログ下部の [PDF の表示に使用] をチェックしてください。プルダウンメニューから選択した PDF ビューア (Acrobat または Acrobat Reader) が、PDF 作成後に自動的に起動して PDF を表示します。

10. [保存] ボタンをクリックすると、PostScript ファイルが作成されます。そして、Acrobat Distiller が自動的に起動し、PostScript ファイルを PDF に変換し、PostScript ファイルを削除した後に終了します。

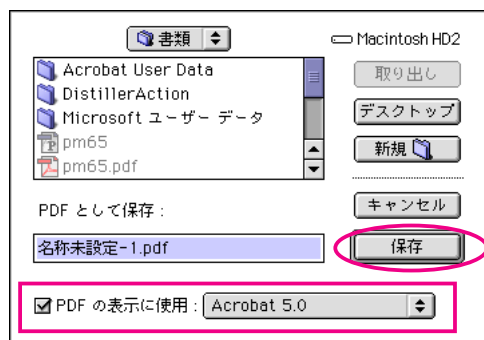
3-PM7M9-03 [PDF 設定の保存] ダイアログ



3-PM7M9-04 [Adobe PDF 書き出し] ダイアログ



3-PM7M9-05 ファイル保存のダイアログ



Adobe FrameMaker 6 日本語版

Windows 2000/XP

■ Acrobat Distiller プリンタの準備

FrameMaker 6 のドキュメントで PDF ファイルを作成する手順は次の通りです。

※ Windows 版の FrameMaker では GDI の機能上の制約により、CMYK で作成されたオブジェクトが RGB に変換されます。PDF 生成後、PitStop などプラグインのツールで RGB を CMYK 化する必要があります。

1. FrameMaker 6 でドキュメントを開きます。
2. [ファイル] メニューの [プリント] を選びます。
3. [文書をプリント] ダイアログの [プリンタ:]
- [設定] ボタンをクリックし、[プリンタの設定]
ダイアログを表示します。
4. [プリンタの設定] ダイアログで [プリンタ]
- [プリンタ名] プルダウンメニューで [Acrobat
Distiller] を選択します。

5. [プロパティ] ボタンをクリックします。[Acrobat
Distiller のドキュメントのプロパティ] が表示され
ます。

6. [Adobe PDF 設定] タブをクリックして、[一般]

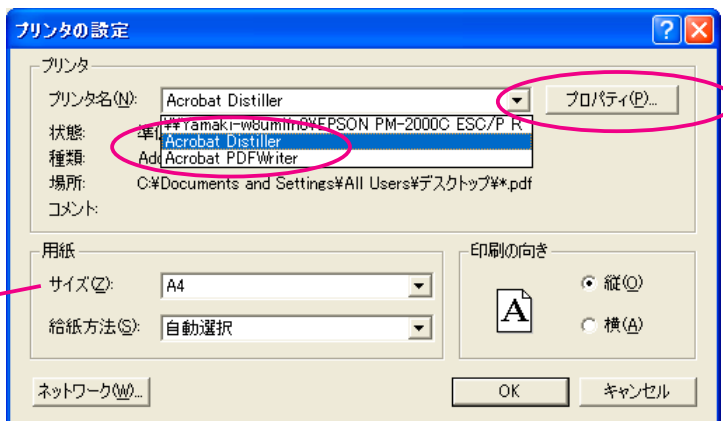
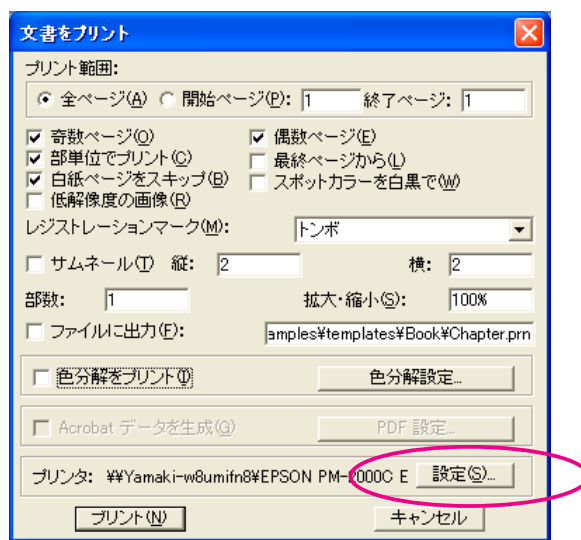
3-FM6-02 [プリンタの設定] ダイアログ
[プリンタ] - [プリンタ名] プルダウンメニュー
で [Acrobat Distiller] を選択し、[プロパティ]
ボタンをクリック。

通常は、トンボを設定して版型よりも大きな用紙サイズを設定する場合、その用紙サイズをカスタムで設定する。

- [ジョブオプション:] プルダウンメニューで、
[Press] またはユーザーが独自に設定したジョブオ
プション名を選択します。[OK] ボタンをクリック
して、[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパ
ティ] ダイアログを閉じます。

7. [プリンタの設定] ダイアログで [OK] ボタン
をクリックして、[文書をプリント] ダイアログに
戻ります。

3-FM6-01 [文書をプリント] ダイアログ [プリンタ:] - [設定] ボタンをクリック。



■ PostScript 出力、PDF 作成を行う

前段の手順で出力の準備が整いました。ついで、PDF 出力に移ります。

1. [文書をプリント] ダイアログで、[色分解をプリント] と [Acrobat データを生成] のチェックボックスにチェックマークがないことを確認します。このオプションは印刷用 PDF には設定できません。

※[文書をプリント]ダイアログで[ファイルに出力] オプションを選択する必要はありません。このオプションを選択すれば、指定場所に PostScript ファイルが作成されますが、自動的に PDF ファイルに変換されません。

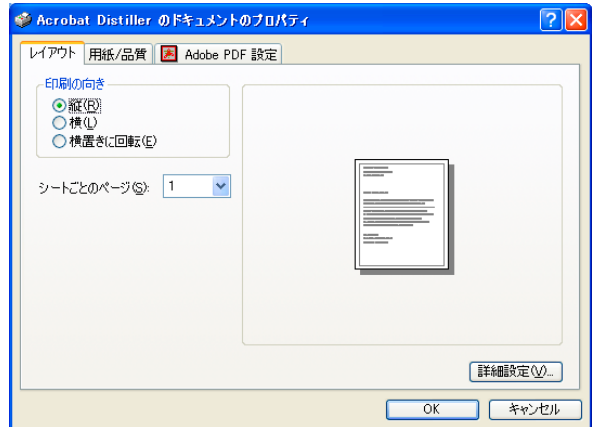
2. [プリント] ボタンをクリックします。[PDF ファイルの保存] ダイアログが表示されます。

※トンボ外にファイル名が出力され、このフォントはシステムフォントが自動設定される。OS のフォント置換テーブルの設定によっては、埋め込めないフォントが設定される。その場合、[Press] ジョブオプションのデフォルトの設定では、[フォント] タブの中にある [埋め込めなかったときの処理] が [ジョブをキャンセルする] に設定されているため、PDF が生成されない。この設定を「警告した後続行する」に変更すれば PDF を生成することはできるが、RIP でエラーになることがある。

※カラースペースについて:Photoshop で制作した TIFF ファイルが貼り込まれている場合、OPI 情報が自動設定される。[Press] ジョブオプションのデフォルトの設定では、[詳細設定] タブの中にある [OPI コメントを保存] が選択されているため、OPI 情報ありの PDF が生成される。この PDF を OPI サーバーを使用していない RIP で印刷すると、元の TIFF ファイルとのリンクが切断されているため、貼り込まれている部分がアミ表示で出力される。OPI 情報が必要のない場合は、[OPI コメントを保存] の選択を外す必要がある。

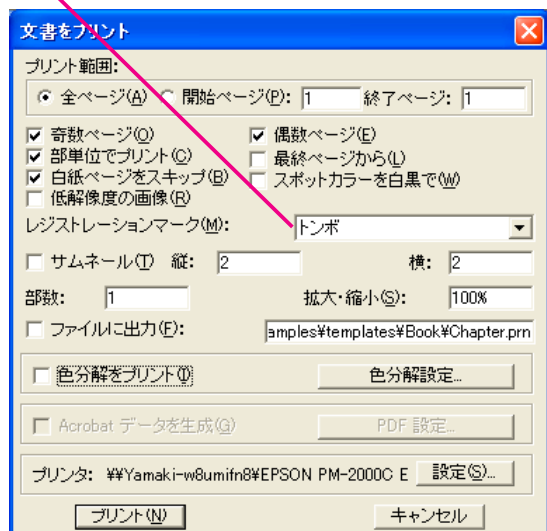
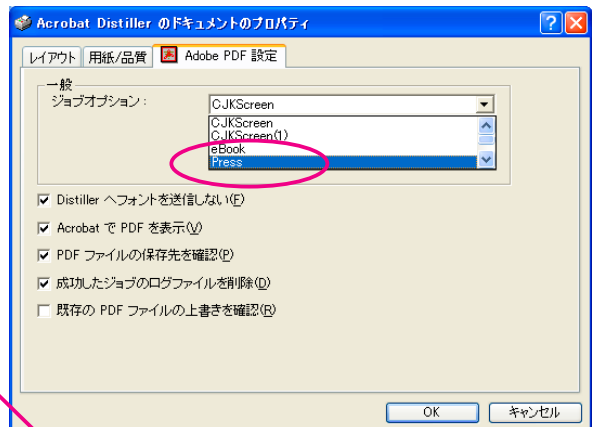
3-FM6-03

[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログ



3-FM6-04

[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログ — [Adobe PDF 設定] タブで、[Press] を選択。



3-FM6-05 [文書をプリント] ダイアログ

[色分解をプリント] と [Acrobat データを生成] のチェックボックスにチェックマークがないことを確認

3.PDF ファイルの保存場所とファイル名を指定します。デフォルトでは、オリジナルファイルの主ファイル名に [.pdf] 拡張子が付いたファイル名が表示されます。

4. [保存] ボタンをクリックすると、PostScript ファイルが作成されます。そして Acrobat Distiller が自動的に起動し、PostScript ファイルを PDF に変換し、その後 PostScript ファイルは削除されます。

最後に作成された PDF ファイルが指定のフォルダ内に保存され、Acrobat がそのファイルを開きます。

■ブックで PDF ファイルを作成する

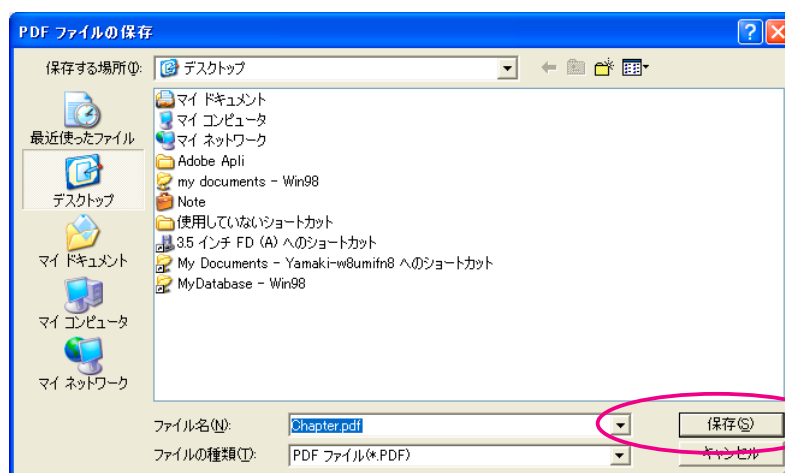
FrameMaker のブックで PDF ファイルを作成す

る手順は、次の通りです。

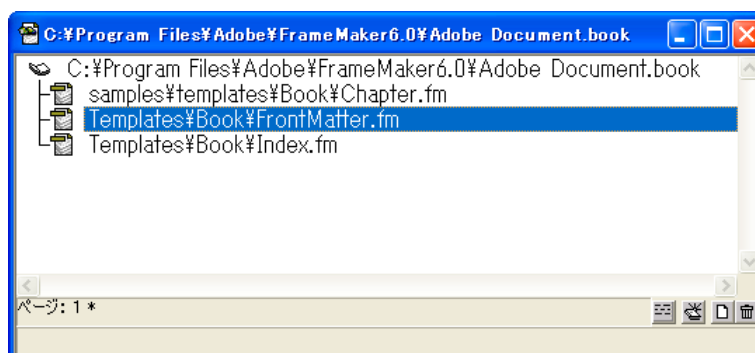
1. FrameMaker でブックを開きます。
2. [ブックウィンドウ] から出力したいファイルを選択します。
3. [ファイル] メニューの [選択ファイルをプリント] を選びます。
4. 前述の方法で PDF を作成します。

※ブックのすべてのページを出力する場合は、[ブックウィンドウ] ですべてのファイルを選択するか、[ファイル] メニューの [ブックをプリント] を選びます。

3-FM6-07 [PDF ファイルの保存] ダイアログ



3-FM6-08 [ブックウィンドウ] ダイアログ
出力したいファイルを選択。



Adobe FrameMaker 6 日本語版

Mac OS 9.2.2

■ PDF ファイルを作成する

FrameMaker のドキュメントから PDF ファイルを作成する前に、Step 2 「セットアップ」の手順に沿って PostScript プリンタドライバの設定を行ってください。

PDF ファイル作成の手順は、以下の通りです。

1. FrameMaker でドキュメントを開きます。

2. FrameMaker [ファイル] メニュー→ [用紙設定 ...] をクリックします。表示されたダイアログで、[プリンタ:] プルダウンメニューから [Adobe PDF の作成] を選択します。

3. 左端のプルダウンメニューから [ページ属性] を選択し、必要に応じて [用紙]、[方向]、[倍率] の変更を行います。

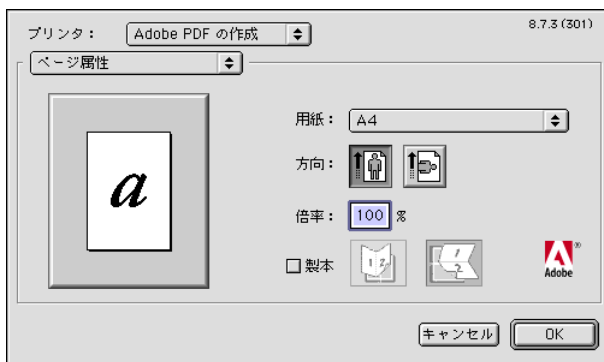
4. 左端のプルダウンメニューから [FrameMaker 6.0] を選択し、[ハーフトーンスクリーン:] を [初期設定] に設定します。

5. 左端のプルダウンメニューから [PostScript オプション] を選択します。[PostScript オプション] ダイアログボックスにあるすべてのチェックを外し、[OK] ボタンを押してダイアログを閉じます。

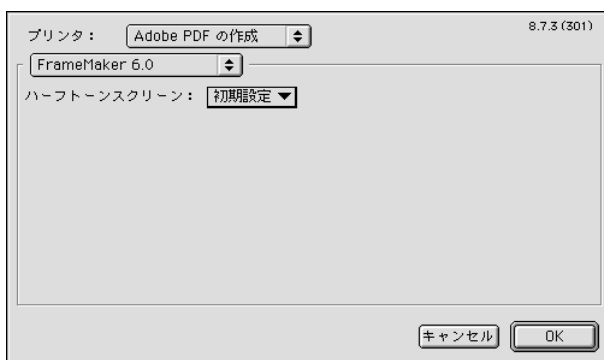
6. FrameMaker の [ファイル] メニュー→ [プリント ...] を選びます。ダイアログが表示されます。

左上の [プリンタ:] プルダウンメニューに [Adobe PDF の作成] が表示されているのを確認します。右上に [出力先] で [ファイル] が表示されているのを確認します。

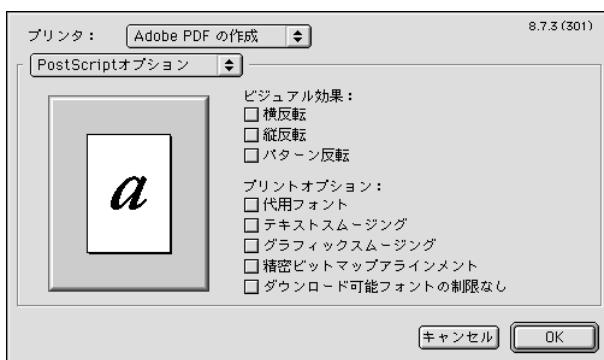
3-FM6M9-01 [ファイル] メニュー→ [用紙設定 ...]
[プリンタ:] プルダウンメニューから [Adobe PDF の作成] を選択。



3-FM6M9-02 [FrameMaker 6.0]
[ハーフトーンスクリーン:] で [初期設定] を選択。



3-FM6M9-03 [PostScript オプション]
チェックボックスのチェックをすべてはずす。



7. 左端のプルダウンメニューから [PDF 設定] を選び、[ジョブオプション:] プルダウンメニューから [Press] を選択するか、ユーザーが独自に設定した Distiller ジョブオプションを選択します。

PDF 作成後、作成された PDF を自動表示するために、[PDF 作成後:] プルダウンメニューで、[Adobe Acrobatを起動する]、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択します。PDF 作成後、PDF の自動表示の必要がない場合は、[何も起動しない] を選択します。

8. 左端のプルダウンメニューから [PostScript 設定] を選び、次のオプションを選択します。

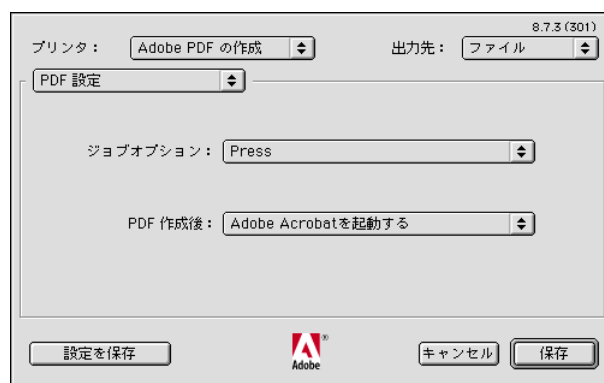
- ・[形式] は [PostScript ジョブ] を選択します。
- ・[PostScript レベル] は [レベル 3] を選択します。
- ・[フォーマット] は [バイナリ] を選択します。
- ・[フォントデータ] は [なし] を選択します。

※ [PostScript レベル] では、最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「このガイドブックについて」－「動作環境」を参照してください。

9. 左端のプルダウンメニューから [プリンタ固有機能] を選択し、解像度を選択します。ここではイメージセッターなど高品位出力する印刷用 PDF ファイルを作成したい時、2400 dpi を選択します。Distiller の [Press] ジョブオプションも 2400 dpi の解像度になっています。

※ [プリンタ固有機能] で 2400dpi 以上の解像度を設定する場合には、事前にカスタマイズした Distiller のジョブオプションを作成し、設定値を合わせるようにしてください。

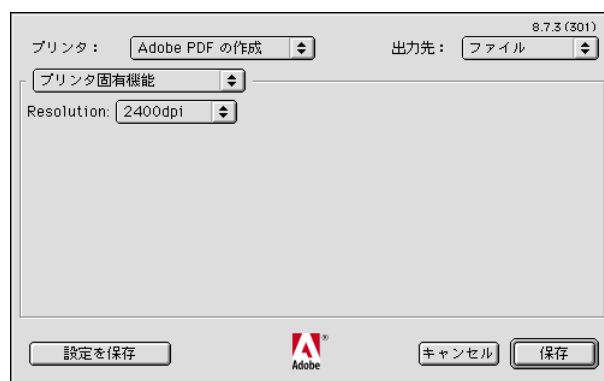
3-FM6M9-04 [PDF 設定] [ジョブオプション] [PDF 作成後] を設定。



3-FM6M9-05 [PostScript 設定] [形式] [PostScript レベル] [フォーマット] [フォントデータ] を設定。



3-FM6M9-06 [プリンタ固有機能] [Resolution] (解像度) を設定。



10. 左端のプルダウンメニューから [追加オプション] を選択し、[高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択] をクリックします。

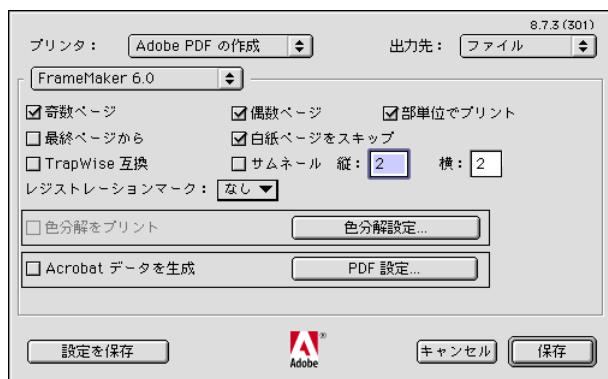
11. 左端のプルダウンメニューから [FrameMaker 6.0] を選択し、各オプションを選択します。以下の設定は必須です。

- ・ [最終ページから] チェックボックスはチェックをはずします。
- ・ [TrapWise 互換] チェックボックスはチェックしません。これはトラッピング処理を TrapWise で行う場合などに使用します。
- ・ [Acrobat データを生成] チェックボックスは、チェックしません。このオプションは、印刷用として PDF を生成する場合は必要ありません。

12. [保存] ボタンをクリックします。ファイルを保存するダイアログが表示されます。このダイアログでファイルを保存する場所を指定します。PDF のファイル名を確認して [保存] ボタンをクリックします。

ファイルを保存するダイアログで、[保存] ボタンをクリックすると、PostScript ファイルが作成されます。そして、Acrobat Distiller が自動的に起動し、

3-FM6M9-07 [FrameMaker 6.0] [最終ページから] [TrapWise 互換] [Acrobat データを生成] を設定。



PostScript ファイルを PDF に変換し、PostScript ファイルを削除した後に終了します。

上記 7. で [Adobe Acrobat を起動する]、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択している場合は、Acrobat、または Acrobat Reader が作成された PDF ファイルを開きます。

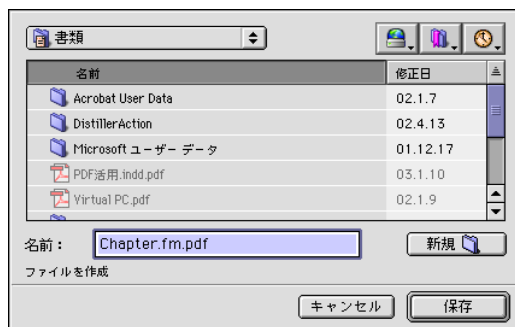
■ブックで PDF ファイルを作成する

FrameMaker のブックで PDF ファイルを作成する手順は次の通りです。

1. FrameMaker でブックを開きます。
2. [ブックウィンドウ] から出力したいファイルを選択します。
3. [ファイル] メニュー → [選択ファイルをプリント] を選びます。前段「PDF ファイルを作成する 6.」と同じダイアログが表示されます。
4. 前段「PDF ファイルを作成する 6.」以下で説明した方法で PDF を作成します。

※ブックのすべてのページを出力する場合は、[ブックウィンドウ] ですべてのファイルを選択するか、[ファイル] メニュー → [ブックをプリント] を選びます。

3-FM6M9-08 ファイル保存のダイアログ
保存するフォルダ、ファイル名を設定。



3-FM6M9-09 [ブックウィンドウ]

出力したいファイルを指定。



Adobe FrameMaker 7 日本語版

Windows 2000/XP

■ Acrobat Distiller プリンタの準備

FrameMaker 7 のドキュメントで PDF ファイルを作成する手順は次の通りです。

※ Windows 版の FrameMaker では GDI の機能上の制約により、CMYK で作成されたオブジェクトが RGB に変換されます。PDF 生成後、PitStop などのプラグインツールで RGB を CMYK 化する必要があります。

1. FrameMaker 7 でドキュメントを開きます。

2. [ファイル] メニューの [プリント] を選びます。

3. [文書をプリント] ダイアログの [プリンタ:] - [設定] ボタンをクリックし、[プリンタの設定] ダイアログを表示します。

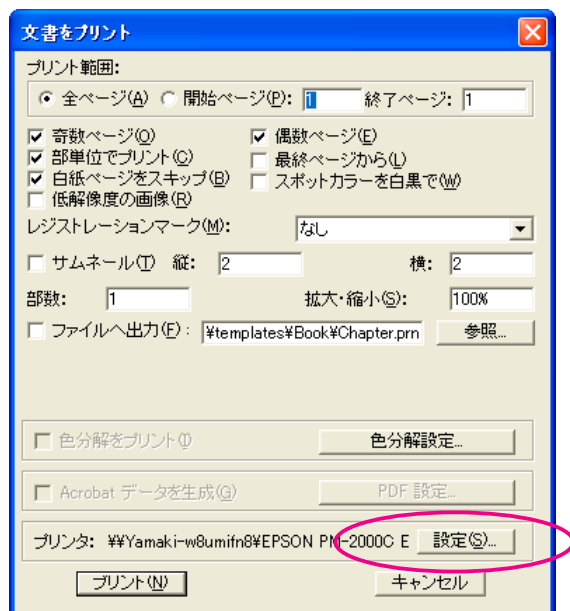
4. [プリンタの設定] ダイアログの [プリンタ] - [プリンタ名] プルダウンメニューで [Acrobat Distiller] を選択します。

5. [プロパティ] ボタンをクリックすると、[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] が表示されます。

6. [Adobe PDF 設定] タブをクリックして、[一般] - [ジョブオプション:] プルダウンメニューで、[Press] またはユーザーが独自に設定したジョブオプション名を選択します。[OK] ボタンをクリックして、[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログを閉じます。

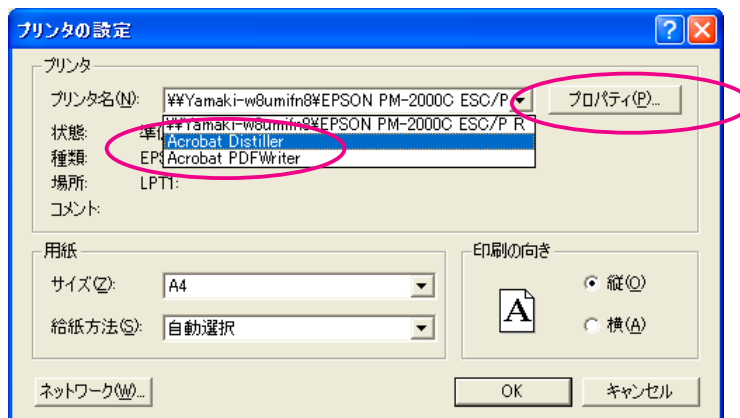
7. [OK] をクリックして、[文書をプリント] ダイアログに戻ります。

3-FM7-01 [文書をプリント] ダイアログ
[プリンタ:] - [設定] ボタンをクリック。



3-FM7-02

[プリンタの設定] ダイアログ
[プリンタ] - [プリンタ名] プルダウンメニューで [Acrobat Distiller] を選択し、[プロパティ] ボタンをクリック。



■ PostScript 出力、PDF 作成を行う

前段の手順で出力の準備が整いました。ついで、PDF 出力に移ります。

1. [文書をプリント] ダイアログで、[色分解をプリント] と [Acrobat データを生成] にチェックがないことを確認します。このオプションは印刷用 PDF のオプションを設定できません。

※[文書をプリント]ダイアログで[ファイルに出力] オプションを選択する必要はありません。このオプションを選択すれば、指定場所に PostScript ファイルが作成されますが、自動的に PDF ファイルに変換されません。

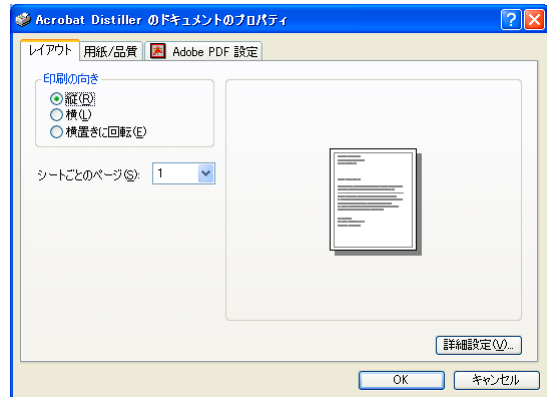
※用紙サイズは、A4 などの既定値ではなく、カスタムで必要なサイズに設定するのが原則です。A4 などに設定して PDF を作成した場合、用紙サイズ

※トンボ外にファイル名が出力され、このフォントはシステムフォントが自動設定される。OS のフォント置換テーブルの設定によっては、埋め込めないフォントが設定される。その場合、[Press] ジョブオプションのデフォルトの設定では、[フォント] タブの中にある [埋め込めなかったときの処理] が [ジョブをキャンセルする] に設定されているため、PDF が生成されない。
この設定を「警告した後続行する」に変更すれば PDF を生成することはできるが、RIP でエラーになることがある。

※カラースペースについて:Photoshop で制作した TIFF ファイルが貼り込まれている場合、OPI 情報が自動設定される。[Press] ジョブオプションのデフォルトの設定では、[詳細設定] タブの中にある [OPI コメントを保存] が選択されているため、OPI 情報ありの PDF が生成される。この PDF を OPI サーバーを使用していない RIP で印刷すると、元の TIFF ファイルとのリンクが切断されているため、貼り込まれている部分がアミ表示で出力される。OPI 情報が必要のない場合は、[OPI コメントを保存] の選択を外す必要がある。

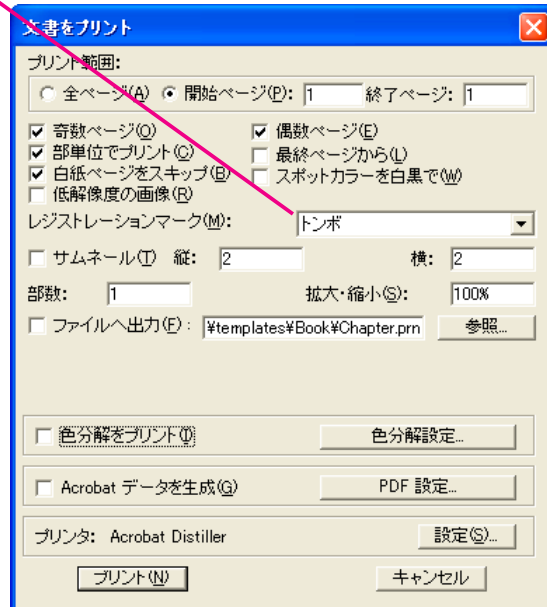
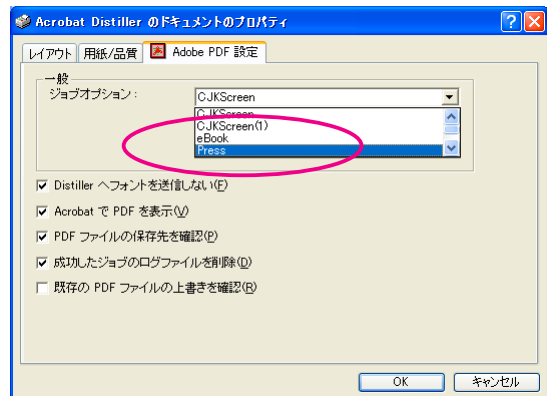
3-FM7-03

[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログ



3-FM7-04

[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログ - [Adobe PDF 設定] タブで、[Press] を選択。



3-FM7-05 [文書をプリント] ダイアログ [色分解をプリント] と [Acrobat データを生成] のチェックボックスにチェックマークがないことを確認

が僅かにずれるため、その旨を注意するメッセージダイアログがプリフライト作成時に表示されます。通常は、トンボを設定して版型よりも大きな用紙サイズを設定しますので、その意味でも用紙サイズをカスタムで設定することを推奨します。

2. [プリント] をクリックします。[PDF ファイルの保存] ダイアログが表示されます。

3. PDF ファイルの保存場所とファイル名を指定します。デフォルトでは、オリジナルファイルのファイル名に [.pdf] 拡張子が付いたファイル名が表示されます。

4. [保存] ボタンをクリックすると、PostScript ファイルが作成されます。そして Acrobat Distiller が自動的に起動し、PostScript ファイルを PDF に変換し、その後、PostScript ファイルは削除されます。最後に作成された PDF ファイルが指定のフォルダ内に保存され、Acrobat がそのファイルを開きます。

■ブックで PDF ファイルを作成する

FrameMaker のブックで PDF ファイルを作成する手順は次の通りです。

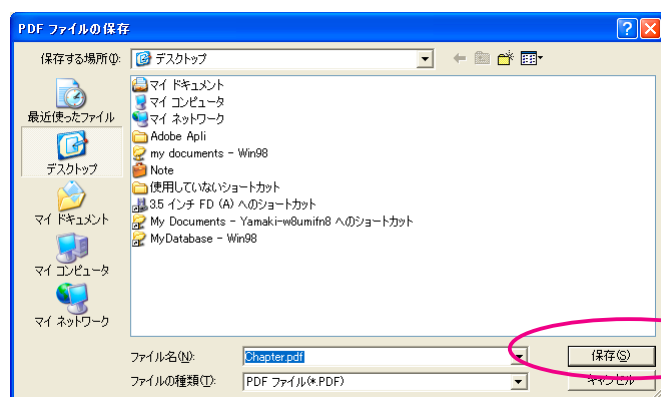
1. FrameMaker でブックを開きます。

2. [ブックウィンドウ] から出力したいファイルを選択します。

3. [ファイル] メニューの [ブックをプリント] を選びます。

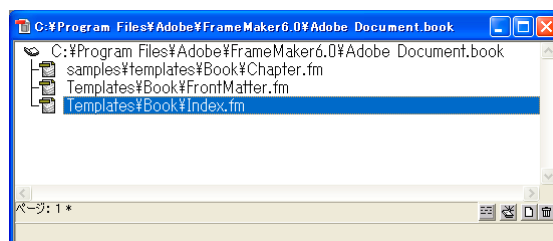
4. [ブックをプリント] ダイアログの [ブックのプリント方法] は [単一のプリントジョブ] を選択します。

5. 前述「Acrobat Distiller プリンタの準備」および「PostScript 出力、PDF 作成を行う」で説明した方法で PDF を作成します。



3-FM7-07 [PDF ファイルの保存] ダイアログ

3-FM7-08 [ブックウィンドウ] ダイアログ
出力したいファイルを選択。



Adobe FrameMaker 7 日本語版

Mac OS 9.2.2

■ PDF ファイルを作成する

FrameMaker のドキュメントから PDF ファイルを作成する前に、Step 2 「セットアップ」の手順に沿って PostScript プリンタドライバの設定を行ってください。PDF ファイル作成の手順は、以下の通りです。

1. FrameMaker でドキュメントを開きます。

2. [ファイル] メニュー→ [用紙設定] をクリックします。表示されたダイアログで、[プリンタ:] プルダウンメニューから [Adobe PDF の作成] を選択します。

3. 左端のプルダウンメニューから [ページ属性] を選択し、必要に応じて [用紙]、[方向]、[倍率] の変更を行います。

4. 左端のプルダウンメニューから [FrameMaker 7.0] を選択し、[ハーフトーンスクリーン:] を [初期設定] に設定します。

5. 左端のプルダウンメニューから [PostScript オプション] を選択します。[PostScript オプション] ダイアログボックスにある全てのチェックを外し、[OK] ボタンを押してダイアログを閉じます。

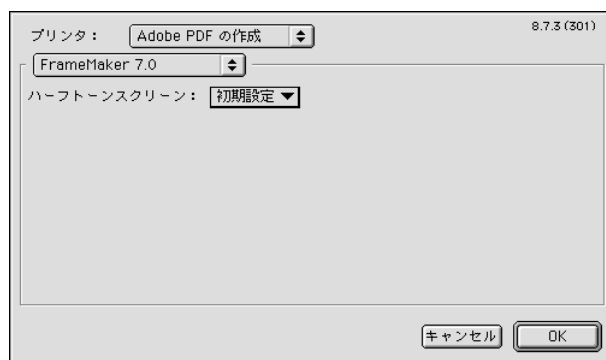
6. FrameMaker の [ファイル] メニュー→ [プリント] を選びます。ダイアログが表示されます。

左上の [プリンタ:] プルダウンメニューに [Adobe PDF の作成] が表示されているのを確認します。右上に [出力先] で [ファイル] が表示されているのを確認します。

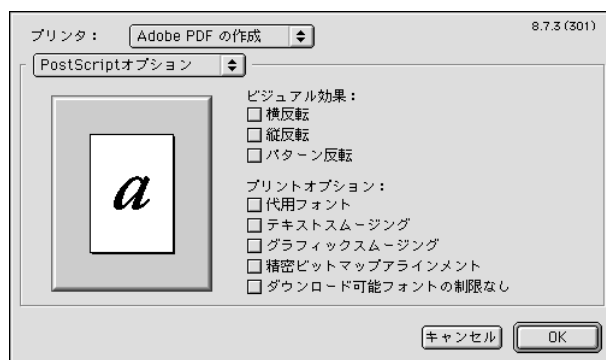
3-FM7M9-01 [ファイル] メニュー→ [用紙設定 ...]
[プリンタ:] プルダウンメニューから [Adobe PDF の作成] を選択。



3-FM7M9-02 [FrameMaker 7.0]
[ハーフトーンスクリーン:] で [初期設定] を選択。



3-FM7M9-03 [PostScript オプション]
チェックボックスのチェックをすべてはずす。



7. 左端のプルダウンメニューから [PDF 設定] を選び、[ジョブオプション:] プルダウンメニューから [Press] を選択するか、ユーザーが独自に設定した Distiller ジョブオプションを選択します。

PDF 作成後、作成された PDF を自動表示するために、[PDF 作成後:] プルダウンメニューで、[Adobe Acrobat を起動する]、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択します。PDF 作成後、PDF の自動表示の必要がない場合は、[何も起動しない] を選択します。

8. 左端のプルダウンメニューから [PostScript 設定] を選び、次のオプションを選択します。

- [形式:] は [PostScript ジョブ] を選択します。
- [PostScript レベル:] は [レベル 3] を選択します。
- [フォーマット:] は [バイナリ] を選択します。
- [フォントデータ:] は [なし] を選択します。

※ [PostScript レベル:] では、最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「このガイドブックについて」—「動作環境」を参照してください。

9. 左端のプルダウンメニューから [プリンタ固有機能] を選択し、解像度を選択します。ここではイメージセッターなど高品位出力する印刷用 PDF ファイルを作成したい時、2400 dpi を選択します。Distiller の [Press] ジョブオプションも 2400 dpi の解像度になっています。

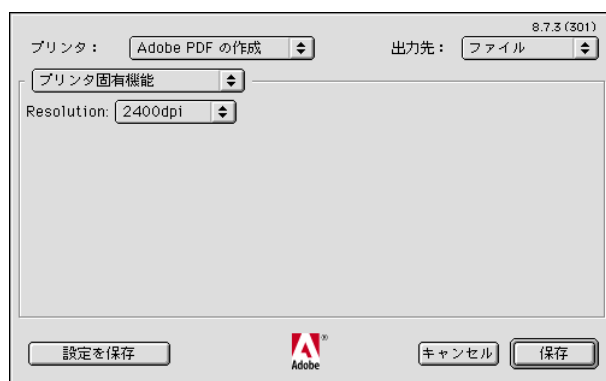
3-FM7M9-04 [PDF 設定] [ジョブオプション] [PDF 作成後] を設定。



3-FM7M9-05 [PostScript 設定] [形式] [PostScript レベル] [フォーマット] [フォントデータ] を設定。



3-FM7M9-06 [プリンタ固有機能] [Resolution] (解像度) を設定。



※ [プリンタ固有機能] で 2400dpi 以上の解像度を設定する場合には、事前にカスタマイズした Distiller のジョブオプションを作成し、設定値を合わせるようにしてください。

10. 左端のプルダウンメニューから [追加オプション] を選択し、[高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択] をクリックします。

11. 左端のプルダウンメニューから [FrameMaker 7.0] を選択し、各オプションを選択します。

- [最終ページから] チェックボックスはチェックをはずします。
- [TrapWise 互換] チェックボックスはチェックしません。これはトラッピング処理を TrapWise で行う場合などに使用します。
- [Acrobat データを生成] チェックボックスは、チェックしません。このオプションは、印刷用として PDF を生成する場合は必要ありません。

12. [保存] ボタンをクリックします。ファイルを保存するダイアログが表示されます。このダイアログでファイルを保存する場所を指定します。PDF のファイル名を確認して [保存] ボタンをクリックします。

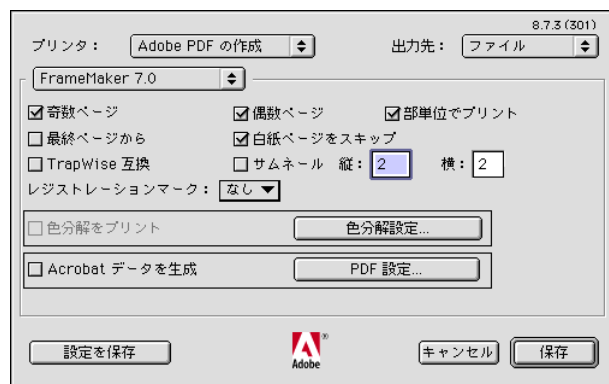
[保存] ボタンをクリックすると、PostScript ファイルが作成されます。そして、Acrobat Distiller が自動的に起動し、PostScript ファイルを PDF に変換し、PostScript ファイルを削除した後に終了します。

上記 7. で [Adobe Acrobat を起動する]、

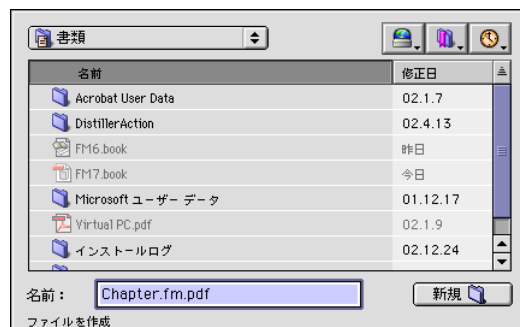
3-FM7M9-07 [追加オプション]
[高速プリンタ...] を選択。



3-FM7M9-08 [FrameMaker 7.0]
[最終ページから] [TrapWise 互換] [Acrobat データを生成] を設定。



3-FM7M9-09 ファイル保存のダイアログ
保存するフォルダ、ファイル名を設定。



または「Adobe Acrobat Reader を起動する」を選択している場合は、Acrobat、または Acrobat Reader が作成された PDF ファイルを開きます。

■ブックで PDF ファイルを作成する

FrameMaker のブックで PDF ファイルを作成する手順は次の通りです。

1. FrameMaker でブックを開きます。
2. 「ブックウィンドウ」から出力したいファイルを選択します。
3. 「ファイル」メニューの「選択ファイルをプリント」を選びます。
4. 前述の方法で PDF を作成します。

※ブックのすべてのページを出力する場合は、「ブックウィンドウ」ですべてのファイルを選択するか、「ファイル」メニューの「ブックをプリント」を選びます。

3-FM7M9-10 「ブックウィンドウ」
出力したいファイルを指定。



Adobe Illustrator 9 日本語版

Windows 2000/XP

■ Acrobat Distiller プリンタの準備

最初に、PDF 作成のために Distiller プリンタの設定を行います。

1. Illustrator 9 でドキュメントを開きます。
2. [ファイル] メニュー→ [プリント] を選択します。[プリント] ダイアログが表示されます。
3. [名前] プルダウンメニューから [Acrobat Distiller] を選択します。[ファイルへ出力] チェックボックスはチェックしません。これをチェックすると、PostScript ファイルが作成されるだけで、自動的に PDF は作成されません。
4. [プロパティ] ボタンをクリックすると、[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログが表示されます。
5. [Adobe PDF 設定] タブをクリックして、[ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press]、

またはユーザーが独自に設定したジョブオプション名を選択します。

[OK] ボタンをクリックして、[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログを閉じます。[プリント] ダイアログに戻ります。

■ PDF ファイル作成手順

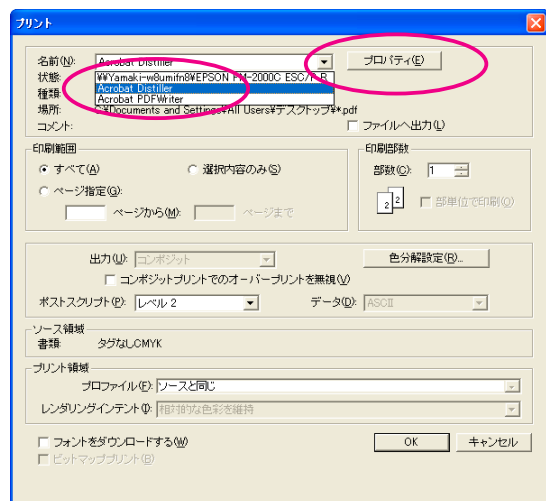
前段の手順で PDF 作成の準備ができました。ついで、PDF 出力に移ります。

1. [プリント] ダイアログで、[コンポジットプリントでのオーバープリントを無視] オプションはチェックしません。
2. [ポストスクリプト] プルダウンメニューで [3] を選択します。

※最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「このガイドブックについて」－「動作

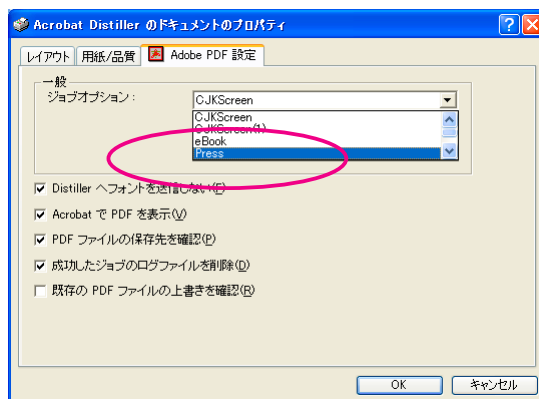
3-III9-01 [プリント] ダイアログ

[名前] プルダウンメニューから [Acrobat Distiller] を選択。



3-III9-02 [Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログ

[Adobe PDF 設定] タブ－ [ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press] を選択。



環境」を参照してください。

3. [フォントをダウンロードする] オプションを
チェックします。

4. [OK] ボタンをクリックします。[PDF ファイル
の保存] ダイアログが開きます。

5. PDF ファイルの保存場所とファイル名を指定しま
す。デフォルトでは、オリジナルファイルの主ファ
イル名に [.pdf] 拡張子が付いたファイル名が表示
されます。

6. [PDF ファイルの保存] ダイアログで [OK] ボ
タンをクリックすると、PostScript ファイルが作成
されます。

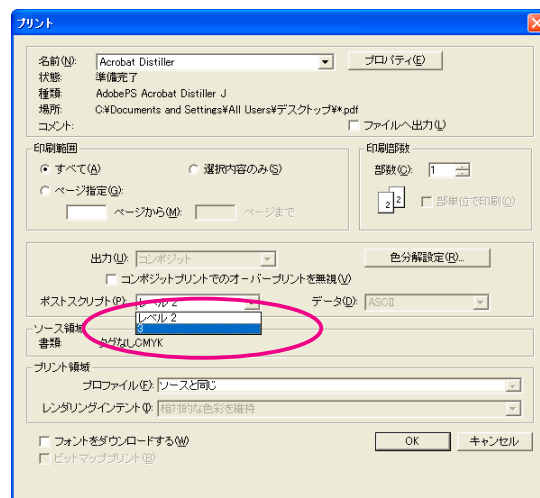
そして、Acrobat Distiller が自動的に起動し、
PostScript ファイルを PDF に変換し、終了します。
その後 PostScript ファイルは削除されます。

最後に作成された PDF ファイルが指定のフォルダ
内に保存され、Acrobat がそのファイルを開きます。

■「透明」オブジェクトを含む場合の設定

Illustrator のファイル中に、透明効果を施したオ
ブジェクトがある場合には、出力に関して特別の

3-III9-03 [プリント] ダイアログ [ポストスクリプト] プルダウンメニューで [3] を選択。



設定をする必要があります。これは、透明オブジェ
クトは、出力に先立ってラスターデータとベクター
データに分解しておく必要があるためです。

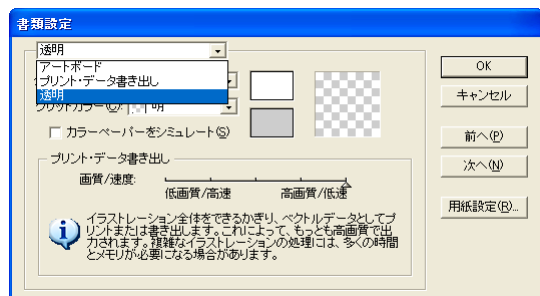
この設定は、[ファイル] メニュー→ [書類設定]
で表示される [書類設定] ダイアログで行います。

[書類設定] ダイアログの左上端にあるプルダウ
ンメニューから [透明] を選択します。[プリント・
データ書き出し] 欄の [画質 / 速度:] のスライダ
を右端に設定します。

3-III9-04 [PDF ファイルの保存] ダイアログ



3-III9-05 [書類設定] ダイアログ [透明] [プリント・データ書き出し] 欄の [画質 / 速度:] のスラ イダを右端に設定。



Adobe Illustrator 9 日本語版

Mac OS 9.2.2

■ PDF ファイルを作成する

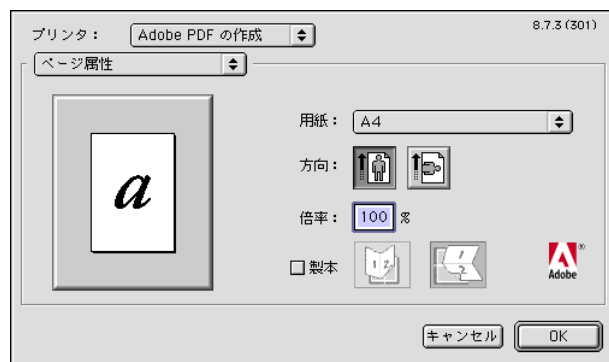
Illustrator のドキュメントから PDF ファイルを作成する前に、Step 2「セットアップ」の手順に沿って PostScript プリンタドライバの設定を行ってください。

PDF ファイル作成の手順は、以下の通りです。

1. Illustrator でドキュメントを開きます。
2. [ファイル] メニュー→[用紙設定 ...] をクリックします。表示されたダイアログで、[プリンタ:] プルダウンメニューから [Adobe PDF の作成] を選択します。
3. 左端のプルダウンメニューから [ページ属性] を選択し、必要に応じて [用紙]、[方向]、[倍率] の変更を行います。
4. 左端のプルダウンメニューから [PostScript オプション] を選択します。[PostScript オプション] ダイアログボックスにあるすべてのチェックを外し、[OK] ボタンを押してダイアログを閉じます。
5. Illustrator の [ファイル] メニュー→ [プリント ...] を選びます。[プリンタ:] プルダウンメニューが [Adobe PDF の作成] になっているのを確認します。[出力先:] プルダウンメニューで [ファイル] になっているのを確認します。
6. 左端のプルダウンメニューから [PDF 設定] を選び、[ジョブオプション:] を [Press] にするか、ユーザーが独自に設定した Distiller ジョブオプションを選択します。

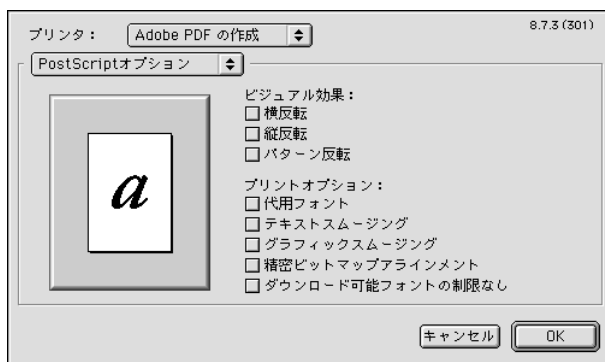
3-III9M-01

[ファイル] メニュー→ [用紙設定 ...] - [ページ属性]



3-III9M-02 [PostScript オプション]

チェックボックスのチェックをすべて外す。



3-III9M-03 [ファイル] メニュー→ [プリント ...]

[プリンタ:] [出力先] を確認、[ジョブオプション:] [PDF 作成後:] を設定。



PDF 作成後、作成された PDF を自動表示するために、[PDF 作成後:] プルダウンメニューで、[Adobe Acrobatを起動する]、または[Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択します。PDF 作成後、PDF の自動表示の必要がない場合は、[何も起動しない] を選択します。

7. 左端のプルダウンメニューから [PostScript 設定] を選び、次のオプションを選択します。

- [形式:] は [PostScript ジョブ] を選択します。
- [PostScript レベル:] は [レベル 3] を選択します。
- [フォーマット:] は [バイナリ] を選択します。
- [フォントデータ:] は [なし] を選択します。

※ [PostScript レベル] では、最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「このガイドブックについて」-「動作環境」を参照してください。

8. 左端のプルダウンメニューから [プリンタ固有機能] を選択し、解像度を選択します。ここでは前述と同じ解像度を選択します。

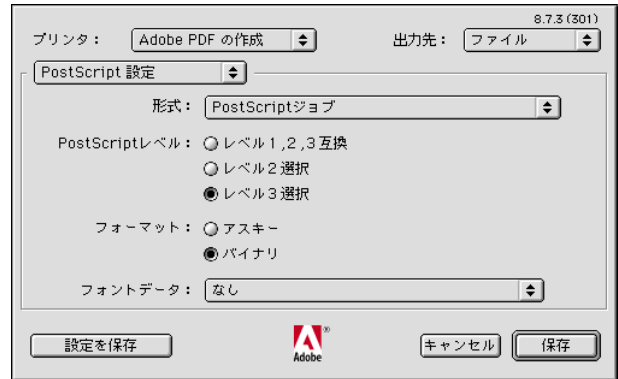
※ [プリンタ固有機能] で 2400dpi 以上の解像度を設定する場合には、事前にカスタマイズした Distiller のジョブオプションを作成し、設定値を合わせるようにしてください。

9. 左端のプルダウンメニューから [追加オプション] を選択し、[高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択] をクリックします。

10. 左端のプルダウンメニューから [Adobe Illustrator® 9.x] (「x」は使用しているバージョンによって変わります) を選択し、次のオプショ

3-III9M-04 [PostScript 設定]

[形式:] 「PostScript レベル:」 [フォーマット:] [フォントデータ:] を設定。



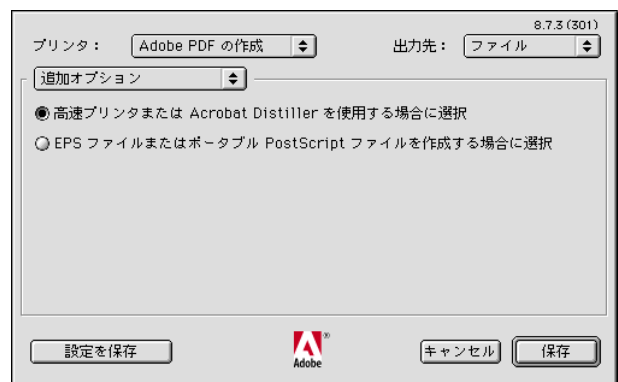
3-III9M-05 [プリンタ固有機能]

[解像度:] を設定。



3-III9M-06 [追加オプション]

[高速プリンタ...] を選択。



ンを選択します。

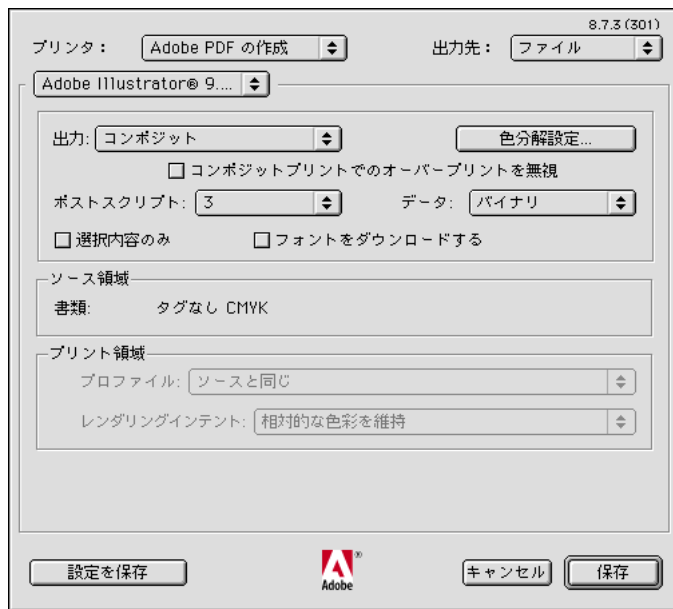
- ・ [出力] は [コンポジット] を選択します。
- ・ [コンポジットプリントでのオーバープリントを無視] はチェックしません。
- ・ [ポストスクリプト] は [3] を選択します。
- ・ [データ] は [バイナリ] を選択します。
- ・ [フォントデータをダウンロードする] はチェックしません。

※ [ポストスクリプト] では、最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「こ

のガイドブックについて」 — 「動作環境」を参照してください。

11. [保存] ボタンを押して、次のダイアログでファイルを保存する場所を指定します。PDF のファイル名を確認して [保存] ボタンをクリックします。

[保存] ボタンをクリックすると PostScript ファイルが作成されます。そして、Acrobat Distiller が自動的に起動し、PostScript ファイルを PDF に変換し、PostScript ファイルを削除した後に終了します。



3-III9M-07 [Adobe Illustrator 9.x]

[出力] [コンポジットプリントでのオーバープリントを無視] [ポストスクリプト] [データ] [フォントデータをダウンロードする] を設定。

3-III9M-8 ファイル保存のダイアログ



上記 6. で [Adobe Acrobat を起動する、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択している場合は、Acrobat、または Acrobat Reader が作成された PDF ファイルを開きます。

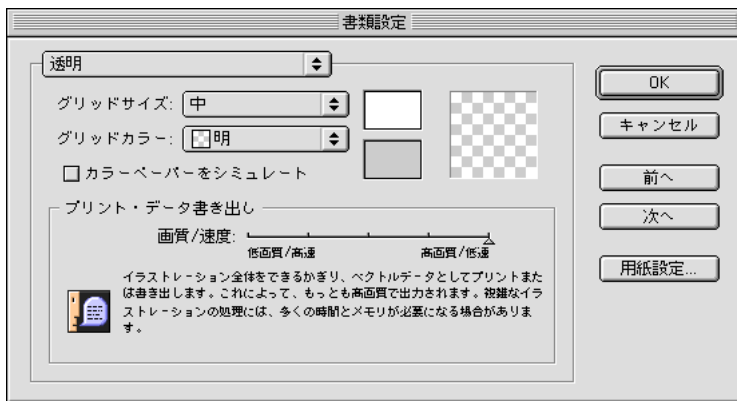
■ 「透明」 オブジェクトを含む場合の設定

Illustrator のファイル中に、透明効果を施したオブジェクトがある場合には、出力に関して特別の設定をする必要があります。これは、透明オブジェ

クトは、出力に先立ってラスターデータとベクターデータに分解しておく必要があるためです。

この設定は、[ファイル] メニュー → [書類設定] で表示される [書類設定] ダイアログで行います。

[書類設定] ダイアログの左上端にあるプルダウンメニューから [透明] を選択します。[プリント・データ書き出し] 欄の [画質/速度:] のスライダを右端に設定します。



3-III9M-09 [書類設定] ダイアログ [透明] [画質/速度] スライダーを右端に設定。

Adobe Illustrator 10 日本語版

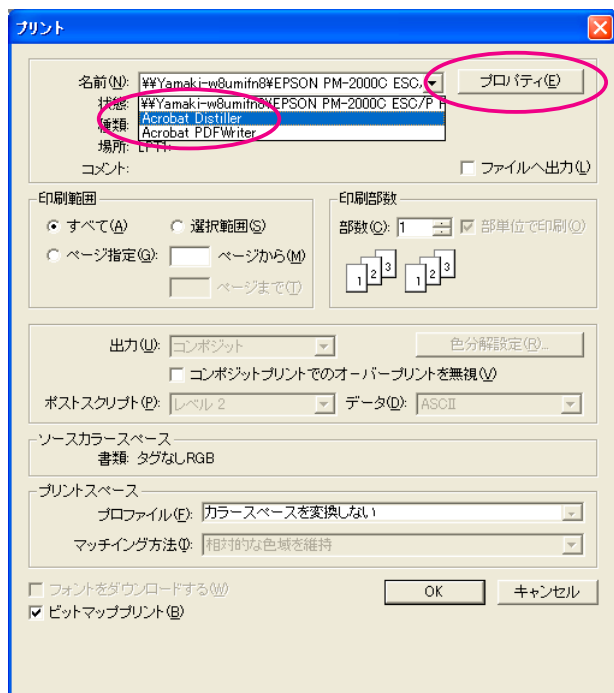
Windows 2000/XP

■ Acrobat Distiller プリンタの準備

最初に、PDF 作成のために Distiller プリンタの設定を行います。

1. Illustrator 10 でドキュメントを開きます。
2. [ファイル] メニュー→ [プリント] を選択します。[プリント] ダイアログが表示されます。
3. [名前] プルダウンメニューから [Acrobat Distiller] を選択します。[ファイルへ出力] チェックボックスは選択しません。これをチェックすると、PostScript ファイルが作成されるだけで、自動的に PDF は作成されません。
4. [プロパティ] ボタンをクリックすると、[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログ

3-III10-01 [プリント] ダイアログ
[名前] プルダウンメニューから [Acrobat Distiller] を選択。



が表示されます。

5. [Adobe PDF 設定] タブをクリックして、[ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press]、またはユーザーが独自に設定したジョブオプション名を選択します。

[OK] ボタンをクリックして、[Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログを閉じます。

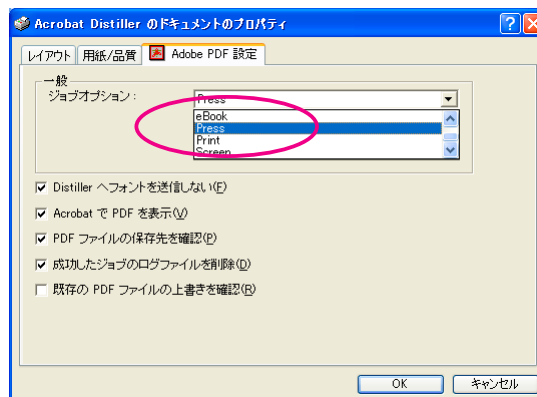
■ PDF ファイル作成手順

前段の手順で PDF 作成の準備ができました。ついで、PDF 出力に移ります。

1. [コンポジットプリントでのオーバープリントを無視] オプションはチェックしません。
2. [ポストスクリプト] ポップアップメニューで [3] を選択します。

※最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガ

3-III10-02 [Acrobat Distiller のドキュメントのプロパティ] ダイアログ
[Adobe PDF 設定] タブ [ジョブオプション:] プルダウンメニューで [Press] を選択。



イド冒頭の「このガイドブックについて」－「動作環境」を参照してください。

3. [フォントをダウンロードする] オプションを
チェックします。

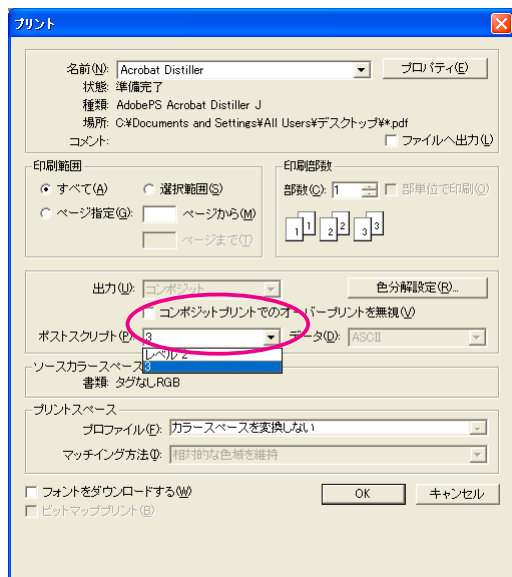
4. [OK] ボタンをクリックします。[PDF ファイル
の保存] ダイアログが開きます。

5. PDF ファイルの保存場所とファイル名を指定しま
す。デフォルトでは、オリジナルファイルの主ファ
イル名に [.pdf] 拡張子が付いたファイル名が表示
されます。

6. [PDF ファイルの保存] ダイアログで [OK] ボ
タンをクリックすると、PostScript ファイルが作成
されます。そして、Acrobat Distiller が自動的に起
動し、PostScript ファイルを PDF に変換し、終了し
ます。その後 Post Script ファイルは削除されます。

最後に作成された PDF ファイルが指定のフォルダ
内に保存され、Acrobat がそのファイルを開きます。

3-III10-03 [プリント] ダイアログ [ポストスクリプト] プルダウンメニューで [3] を選択。



3-III10-04 [PDF ファイルの保存] ダイアログ



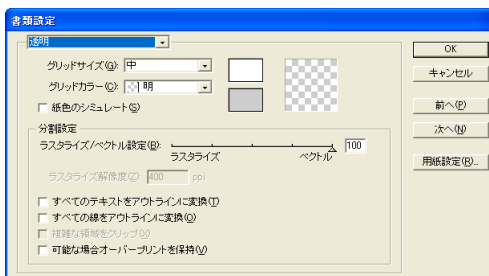
■ 「透明」オブジェクトを含む場合の設定

Illustrator のファイル中に、透明効果を施したオ
ブジェクトがある場合には、出力に関して特別な
設定をする必要があります。これは、透明オブジェ
クトは、出力に先立ってラスターデータとベクター
データに分解しておく必要があるためです。

この設定は、[ファイル] メニュー→ [書類設定]
で表示される [書類設定] ダイアログで行います。

[書類設定] ダイアログの左上端にあるプルダウ
ンメニューから [透明] を選択します。[分割設定]
欄の [ラスターライズ/ベクトル設定:] のスライダ
を右端に設定します。その他のオプションは、出力
部門、または出力担当会社と相談して決めてくださ
い。

3-III10-05 [書類設定] ダイアログ [透明] [分割設定] 欄の [ラスターライズ/ベクトル設定:] のスラ イダを右端に設定。



■分割結果をプレビューする

透明オブジェクトをラスターデータとベクターデータに分解することを「分割」と言います。Illustrator 10 では、設定に従った分割をプレビューすることができ、これを「分割プレビュー」と言います。

分割プレビューを利用するには、「分割プレビュー」プラグインをインストールする必要があります。「分割プレビュー」プラグインは、インストール済みの Illustrator フォルダ階層下の下記フォルダにあります。

...¥Illustrator 10¥ ユーティリティ ¥分割プレビュー ¥

これを下記のフォルダに移します。

...¥Illustrator 10¥ プラグイン ¥

「分割プレビュー」プラグインがインストールされると、[ウィンドウ] メニューに [分割プレビュー]

サブメニューが表示されます。これを選択すると、[分割プレビュー] ウィンドウが表示されます。

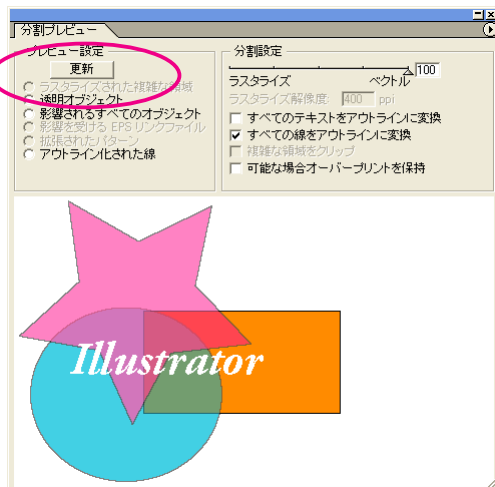
このウィンドウの [分割設定] 欄は、[書類設定] ダイアログ [透明] の [分割設定] 欄と同じです。また、[分割プレビュー] ウィンドウで行った分割設定は、直ちに [書類設定] ダイアログ [透明] の [分割設定] に反映されます。

[プレビュー設定] 欄の [更新] ボタンをクリックすると、[分割設定] に基づいて、分割後の状態が [分割プレビュー] ウィンドウ下部に表示され

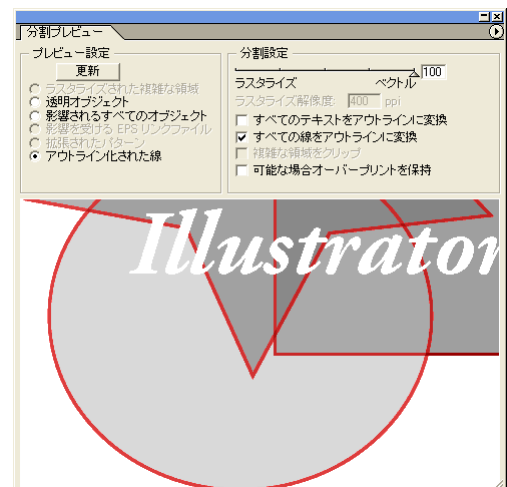
ます。
[プレビュー設定] 欄の [透明オブジェクト] などの項目をクリックすると、それぞれの項目に該当する部分が赤く表示されます。

このプレビュー画面は、拡大縮小が可能です。プレビューされている画面の上にポインタを置くと、ポインタがズームツールに変わります。

3-III10-06 [分割プレビュー] ウィンドウ [更新] ボタンをクリックすると分割プレビューが表示される。



3-III10-07 [分割プレビュー] ウィンドウ [プレビュー設定] の項目をクリックすると、該当部分が赤く表示される。



Adobe Illustrator 10 日本語版

Mac OS 9.2.2

■ PDF ファイルを作成する

Illustrator のドキュメントから PDF ファイルを作成する前に、Step 2「セットアップ」の手順に沿って PostScript プリンタドライバの設定を行ってください。

PDF ファイル作成の手順は、以下の通りです。

1. Illustrator でドキュメントを開きます。

2. Illustrator の [ファイル] メニュー → [用紙設定 ...] をクリックします。表示されたダイアログで、[プリンタ:] プルダウンメニューから [Adobe PDF の作成] を選択します。

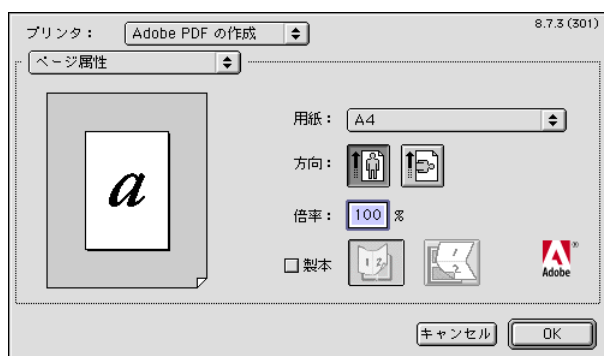
3. 左端のプルダウンメニューから [ページ属性] を選択し、必要に応じて [用紙]、[方向]、[倍率] の変更を行います。

4. 左端のプルダウンメニューから [PostScript オプション] を選択します。[PostScript オプション] ダイアログにあるすべてのチェックを外し、[OK] ボタンを押してダイアログを閉じます。

5. Illustrator の [ファイル] メニュー → [プリント ...] を選びます。左上に [Adobe PDF の作成] が表示されているのを確認します。右上に [出力先] で [ファイル] が表示されているのを確認します。

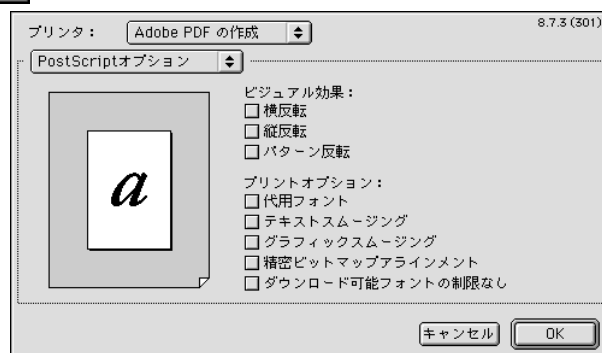
6. プルダウンメニューから [PDF 設定] を選び、[ジョブオプション:] を [Press] にするか、ユーザーが独自に設定した Distiller ジョブオプションを選択します。

PDF 作成後、作成された PDF を自動表示するために、[PDF 作成後:] プルダウンメニューで、[Adobe Acrobat を起動する]、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択します。PDF 作成後、



3-III10M-02 [PostScript オプション]
チェックボックスのチェックをすべて外す。

3-III10M-01
[ファイル] メニュー → [用紙設定 ...] → [ページ属性]
[Adobe PDF の作成] [ページ属性] を選択。



PDF の自動表示の必要がない場合は、[何も起動しない] を選択します。

10. 左端のプルダウンメニューから [PostScript 設定] を選び、次のオプションを選択します。

- ・ [形式] は [PostScript ジョブ] を選択します。
- ・ [PostScript レベル] [レベル 3] を選択します。
- ・ [フォーマット] は [バイナリ] を選択します。
- ・ [フォントデータ] は [なし] を選択します。

※ [PostScript レベル] では、最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を

選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「このガイドブックについて」－「動作環境」を参照してください。

7. 左端のプルダウンメニューから [プリンタ固有機能] を選択し、解像度を選択します。ここでは前述 3. と同じ解像度を選択します。

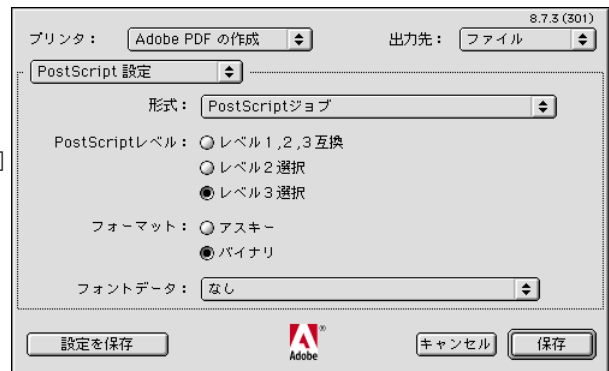
※ [プリンタ固有機能] で 2400dpi 以上の解像度を設定する場合には、事前にカスタマイズした Distiller のジョブオプションを作成し、設定値を合わせるようにしてください。



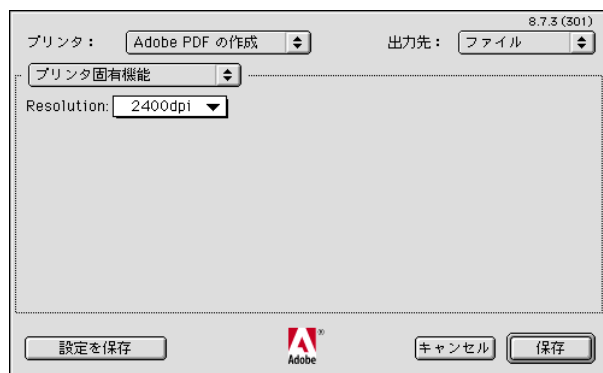
3-III10M-04 [PostScript 設定]
[形式:] 「PostScript レベル:」 [フォーマット:]
[フォントデータ:] を設定。

3-III10M-03

[ファイル] メニュー→ [プリント...] - [PDF 設定]
[プリンタ:] [出力先] を確認、[ジョブオプション:] [PDF 作成後:] を設定。



3-III10M-05 [プリンタ固有機能]
[解像度:] を設定。



8. 左端のプルダウンメニューから [追加オプション] を選択し、[高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択] をクリックします。

9. 左端のプルダウンメニューから [Adobe Illustrator 10] (「x」は使用しているバージョンによって変わります) を選択し、次のオプションを選択します。

- ・ [出力] は [コンポジット] を選択します。
- ・ [コンポジットプリントでのオーバープリントを無視] はチェックしません。
- ・ [ポストスクリプト] は [3] を選択します。

- ・ [データ] は [バイナリ] を選択します。
- ・ [フォントデータをダウンロードする] はチェックしません。

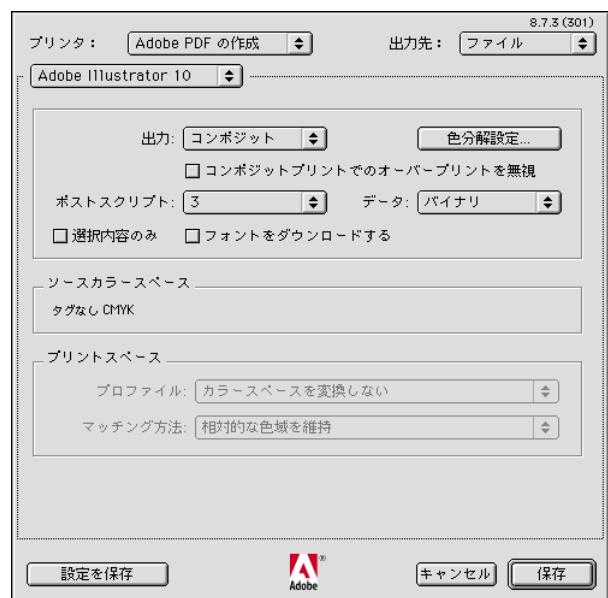
※ [ポストスクリプト] では、最終出力機が PostScript Level 2 である場合には、[レベル 2] を選択してください。詳しくは、本ガイド冒頭の「このガイドブックについて」 - 「動作環境」を参照してください。

10. [保存] ボタンを押して、次のダイアログでファイルを保存する場所を指定します。PDF のファイル名を確認して [保存] ボタンをクリックします。



3-III10M-06 [追加オプション] [高速プリンタ...] を選択。

3-III10M-07 [Adobe Illustrator 9.x] [出力] [コンポジットプリントでのオーバープリントを無視] [ポストスクリプト] [データ] [フォントデータをダウンロードする] を設定。



[保存] ボタンをクリックすると PostScript ファイルが作成されます。そして、Acrobat Distiller が自動的に起動し、PostScript ファイルを PDF に変換し、PostScript ファイルを削除した後に終了します。

上記 6. で [Adobe Acrobat を起動する]、または [Adobe Acrobat Reader を起動する] を選択している場合は、Acrobat、または Acrobat Reader が作成された PDF ファイルを開きます。

■ 「透明」オブジェクトを含む場合の設定

Illustrator のファイル中に、透明効果を施したオ

ブジェクトがある場合には、出力に関して特別の設定をする必要があります。これは、透明オブジェクトは、出力に先立ってラスターデータとベクターデータに分解しておく必要があるためです。

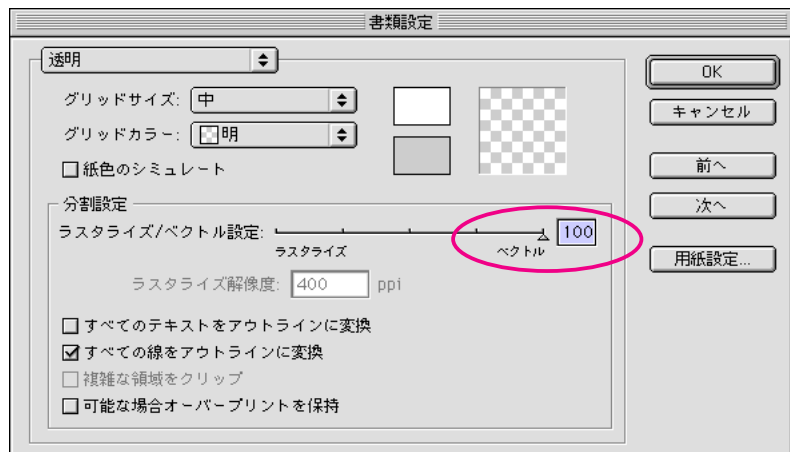
この設定は、[ファイル] メニュー→ [書類設定] で表示される [書類設定] ダイアログで行います。

[書類設定] ダイアログの左上端にあるプルダウンメニューから [透明] を選択します。[分割設定] 欄の [ラスターライズ/ベクトル設定:] のスライダを右端に設定します。その他のオプションは、出力部門、または出力担当会社と相談して決めてください。



3-III10M-08 ファイル保存のダイアログ

3-III10M-09 [書類設定] ダイアログ [透明] [分割設定] 欄の [ラスターライズ/ベクトル設定:] のスライダを右端に設定。



■分割結果をプレビューする

透明オブジェクトをラスターデータとベクターデータに分解することを「分割」と言います。Illustrator 10 では、設定に従った分割をプレビューすることができ、これを「分割プレビュー」と言います。

分割プレビューを利用するには、「分割プレビュー」プラグインをインストールする必要があります。「分割プレビュー」プラグインは、インストール済みの Illustrator フォルダ階層下の下記フォルダにあります。

...Illustrator 10: ユーティリティ: 分割プレビュー:

これを下記のフォルダに移します。

...Illustrator 10: プラグイン:

「分割プレビュー」プラグインがインストールされると、[ウィンドウ] メニューに [分割プレビュー]

サブメニューが表示されます。これを選択すると、[分割プレビュー] ウィンドウが表示されます。

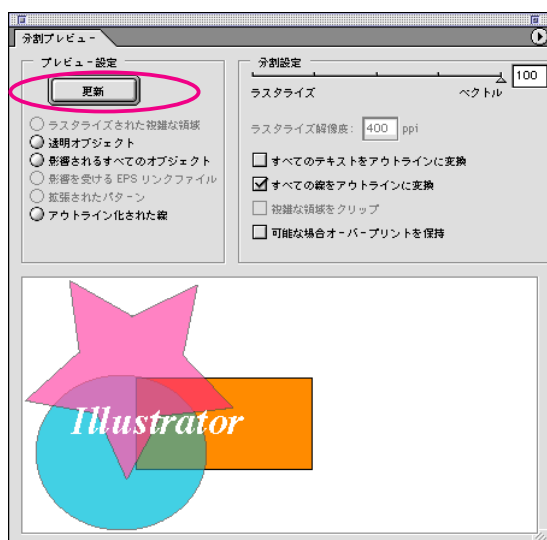
このウィンドウの [分割設定] 欄は、[書類設定] ダイアログ [透明] の [分割設定] 欄と同じです。また、[分割プレビュー] ウィンドウで行った分割設定は、直ちに [書類設定] ダイアログ [透明] の [分割設定] に反映されます。

[プレビュー設定] 欄の [更新] ボタンをクリックすると、[分割設定] に基づいて、分割後の状態が [分割プレビュー] ウィンドウ下部に表示されます。

[プレビュー設定] 欄の [透明オブジェクト] などの項目をクリックすると、それぞれの項目に該当する部分が赤く表示されます。

このプレビュー画面は、拡大縮小が可能です。プレビューされている画面の上にポインタを置くと、ポインタがズームツールに変わります。

3-III10M-10 [分割プレビュー] ウィンドウ [更新] ボタンをクリックすると分割プレビューが表示される。



3-III10M-11 [分割プレビュー] ウィンドウ [プレビュー設定] の項目をクリックすると、該当部分が赤く表示される。

